

市民フォト 鹿児島

No.12

●昭和58年3月1日発行

水はぬるみ、川を渡る風も光る。
友を誘ってのひとときのサイクリング。
ペダルも軽い。 ひと汗かいたあの
オシャベリがまた楽しみです。〔人物
はミス鹿児島の藤山真弓さん(左)
と前ミス鹿児島の守島美加子さん、
城南小学校の子どもたち〕



私の作品



もくじ

私の作品.....

特集・鹿児島市民文化ホール.....

文化公園アラカルト.....

3

6 ~ 7

2

文化の香り乗せて.....

館内散歩から.....

8 ~ 9

5

10 ~ 11

人物登場(朝倉利夫さん).....

ばくらの施設めぐり(谷山市民会館).....

飛んで21年(玉里・下伊敷).....

市民のひろば.....

奥様こんにちは(松山知子さん).....

あなたのフォトサロン.....

新春ジョギングフェスティバル.....

城山.....

わたしの散歩道笠松~慈眼寺).....

カメラピックス.....

あの店この店(稻森靴店).....

市立美術館(樵夫と熊).....

31

30

28 ~ 29

26 ~ 27

24 ~ 25

22 ~ 23

町

附属小学校四年 有馬豪男

ぼくは、町が大好きです。町に

いと思います。

は、いつも多くの人びとが働いて
いて、多くの建物があり、いつも
活気にあふれているからです。

建物をよく観察すると、いろい
ろな形や色が重なり合って、美し

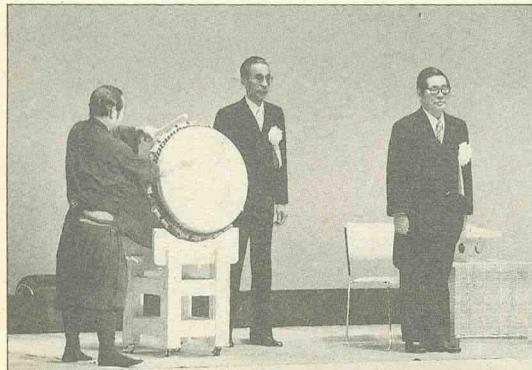
この絵は、ひとつひとつの建物
の形や色の美しさ、重なり合つた
おもしろさに気をつけて、描いた
ものです。下書きの線を生かしな
がら色をつけてみました。



文化の拠点、市民文化ホール、ど、文化公園、

花開 文化的殿堂

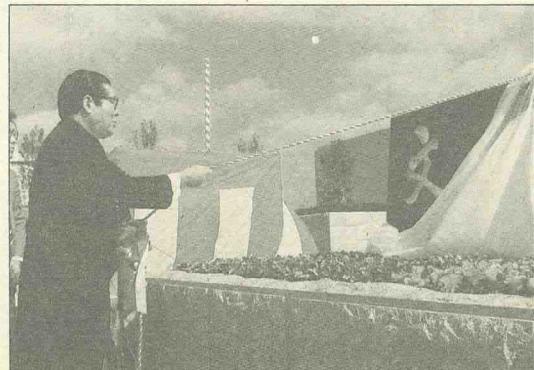
●特集●市民文化ホール



一番太鼓でオープニング。山之口市長(右)と和田館長(中)



オープンを祝って、テープカット



文化公園の碑が姿を現わす…

早春の二月六日、待望の市民文化ホール、文化公園がオープン、盛大に記念行事が行われました。

「文化の香り高いまちづくりの拠点」、「鹿児島のシンボル」が誕生したのです。これは、また鹿児島の新しい時代を告げるルネッサンスでもあります。

市民の心を豊かにする場、ふれあいの場として愛され、利用されることでしう。

2月6日

こけら落とし

文化の香り乗せて



三番叟の舞も式典を引き締めた



市立少年合唱隊も「市民歌」で一役



式辞を述べる市長



工事関係者に感謝状

テープカットで、くす玉割りの役、ちょっと緊張しました。市の発展を象徴するかのよう立派なホール、公園。市の文化を中心として、多くの人びとが気軽に催し物を楽しめる施設になるよう期待します。市内の中学生が一堂に集まり、テーマを決めて発表し合う、そんな場としても利用したいですね。

誘いこまれるような感じのホールの玄関。抱擁するかのような全體像。背後には躍動する桜島。静と動が調和した立派な施設です。市民の憩いの場、芸術を満喫し、極める場として利用され、きっと心豊かなまち、名実共に文化都市へと発展していくことでしょう。私たちも、組織を通じて文化活動の一役を果たしたいですね。

**宇宿町中地区町内会長
斎野善吉さん**

天保山中二年
肥後太基くん

第一ホールで開かれた「市民文化

ホール」の開館記念式典には約千六

百人が出席。厳しくて、文化の

香りあふれるふん囲気の中で行わ

れました。

一番太鼓、合唱、三番叟、綾帳の披露などのあと、式典があり、

最後に岩城宏之氏の指揮によるN

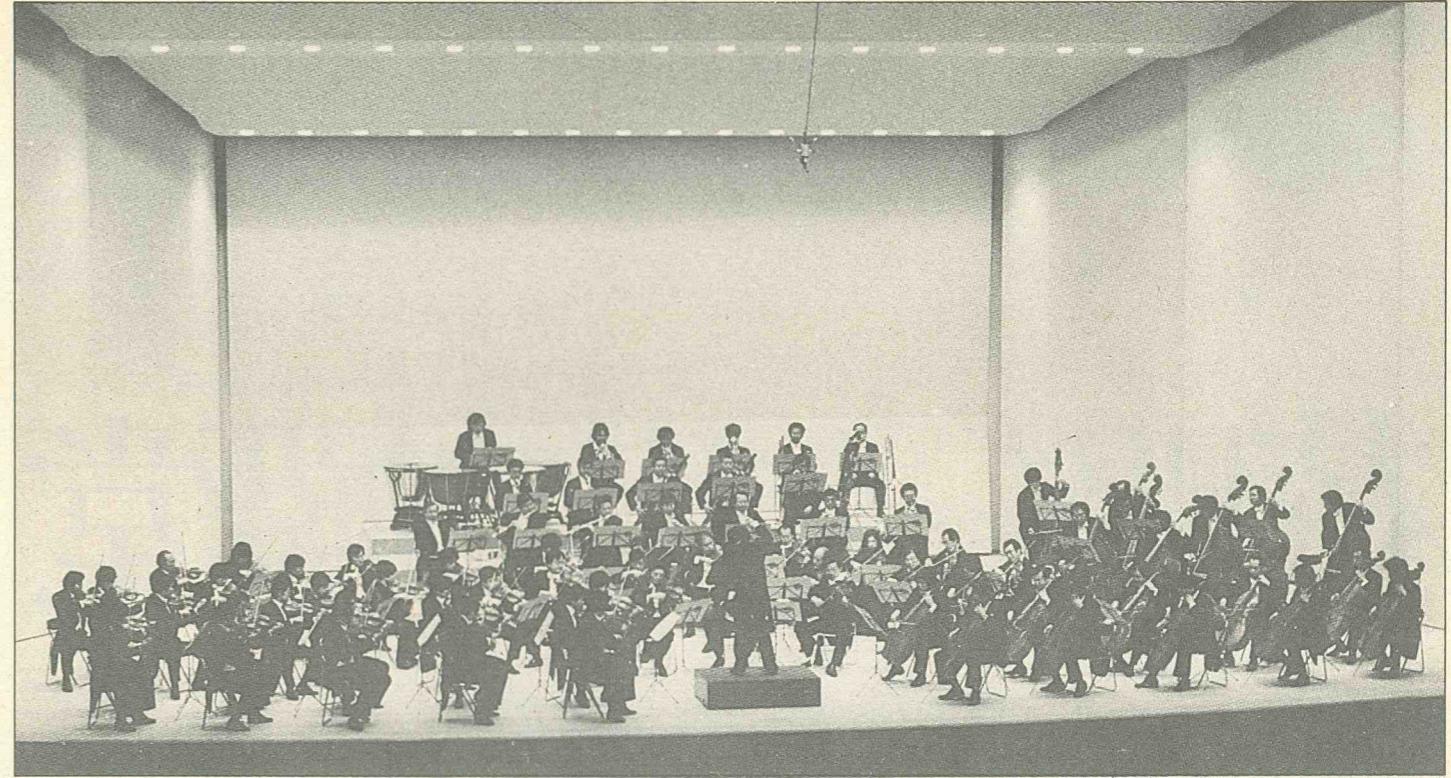
H K交響楽団の演奏「運命」でこけ

ら落とし、その門出を祝いました。

まさに、鹿児島に文化の鐘が高ら

かに鳴りわたった記念すべき日と

言えましょう。



NHK交響楽団の「運命」の熱演で、こけら落とし



厳しくな中にも文化の香気が…



2,008席の第1ホールで記念式典

世界に冠たる文化の殿堂を造りたいという市長の夢が実現しましたね。が、これから、どう活用していくかが大事。文化の香り高い人間性を養成する場として、立派に運営していただきたい。

それに、形(器)に魂を入れることです。そのためには、この館で五十万市民が互いに心の交流、ふれあいを深め、一体となつて二十世紀に向かって、益々県都の発展を期してほしいと思います。

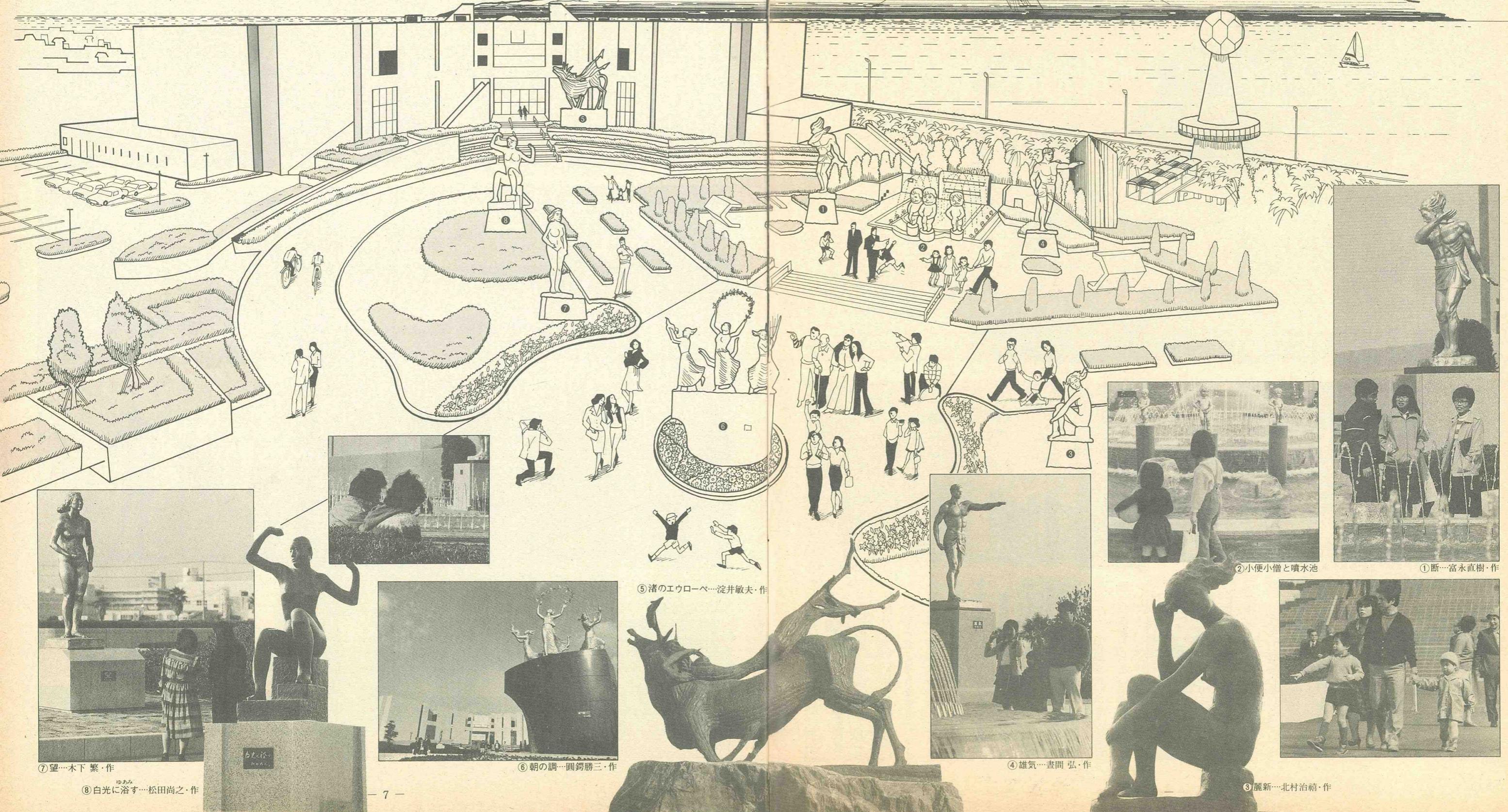
誰もが夢みていた芸術と文化の粹を集めた一大殿堂の誕生。ほんとうに素晴らしい。感激と誇りでいっぱいです。人びとは香り高い文化に触れ、たん能するでしょう。親しみ、愛し、大切にし、市民のコミュニティーの場に、また明るく、心やさしい薩摩の人間づくりに大いに活用されるよう望みます。

**市母子寡婦福祉会会長
薬丸 静さん**

**(社)三州俱楽部会長
小濱 繁さん**

文化公園 アラカルト

市民文化ホールの前面に広がる
洋風の庭園、それが“文化公園”で
す。
ふんだんに植え込まれた郷土色
豊かな木々や季節の草花、その間
には日本彫塑界の大家の手になる
モニュメント(彫刻)が、夜間、七
色に変化する噴水池には小便小僧
の像があるなど、訪れる人びとに
芸術の喜びを与えてくれます。あ
なたも、香り高い芸術に浸りつつ、
散策してみませんか。



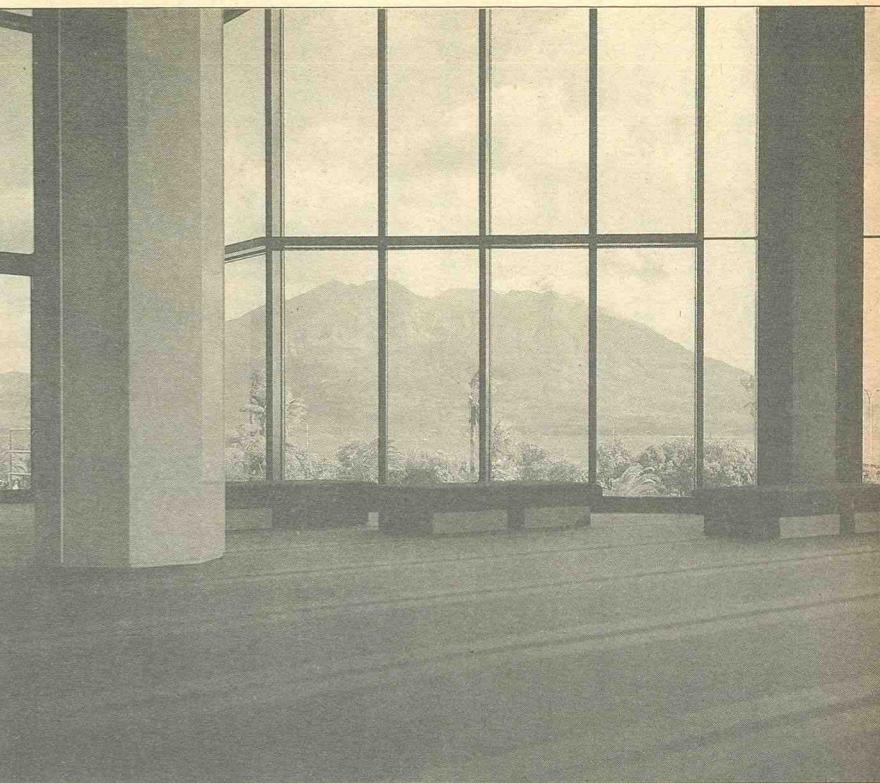
館内散歩から



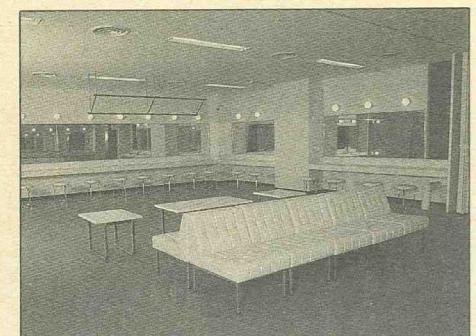
星のいのり
…中村晋也・作

地下一階、地上五階建ての風格

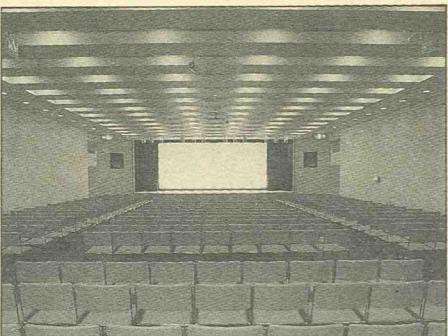
ある文化の殿堂。
館内には音楽、演劇、発表会など、それぞれの目的に合わせて三つのホールがあります。音響効果は折り紙つきで、その他の諸設備も整った全国でも有数の施設です。その中から、目につくままに紹介してみました。



桜島も一望に…エントランスホールから



第1ホール樂屋…出演者の気持ちもなごむ



市民ホール…だれでも気軽に利用できる



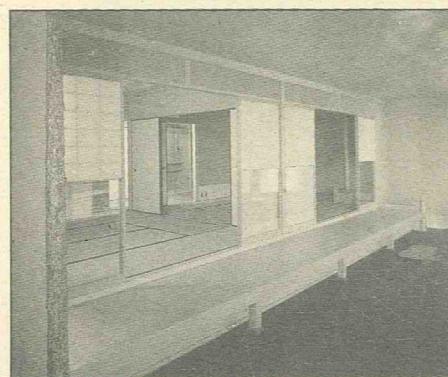
シャンデリア…エントランスホール入口に豪華に輝く



中央監視盤室



神代桜…留岡彬・作



和室…洋風建築にも、こんな部屋が…



第1ホール…本物の音に心ゆくまで浸れる



第2ホール…生き生きとした役者の動きがよく見える

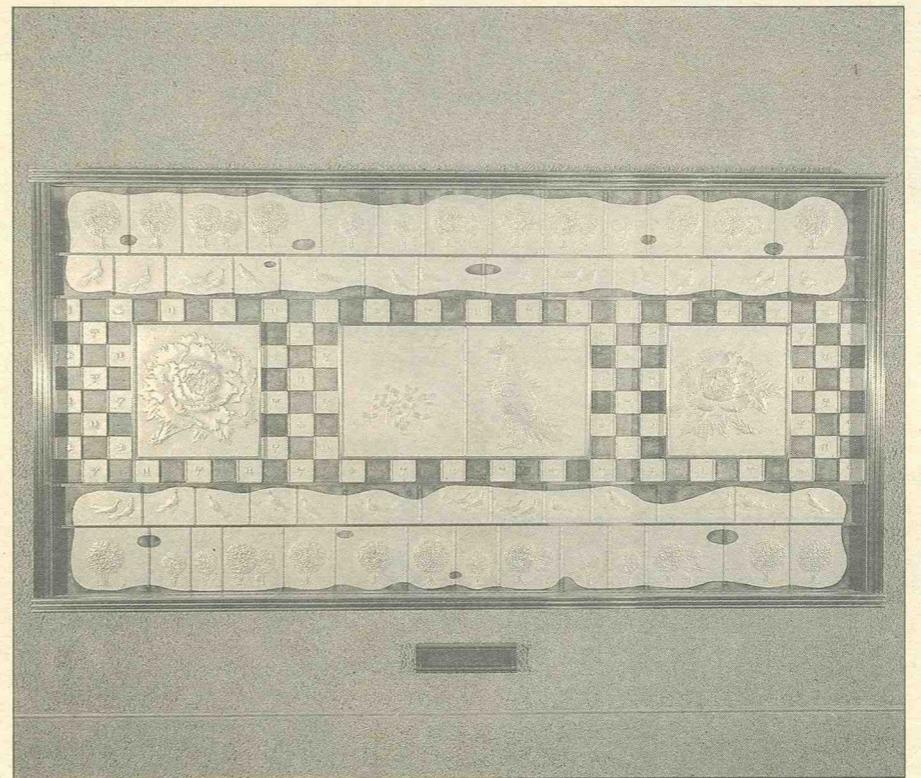


文化ホール
建設余話

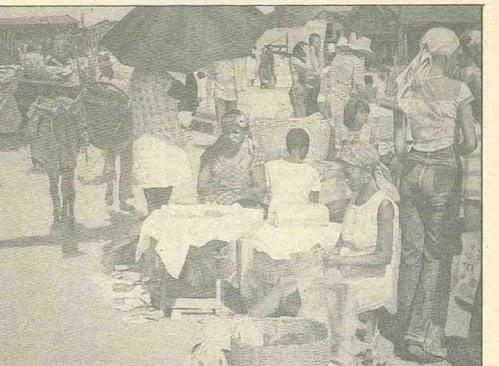
上田信也さん

海に面していることから海水の面や、桜島との調和、それに、市長さんが「文化公園にモニュメントを配し、芸術性あふれるものにしたい」という意向がありましたので、芸術性ということで非常に苦心しました。また、音響効果を高めることや、ホールの特色を出すこと

にも…。
地盤強化のため、四十メートルの深さにいく千本を打ち込みました。そのほか、シャンデリアでは日本で一流の伊藤隆道さんにお願いしました。設計に一年をかけ、今、こうして完成したのをみると、感無量です。



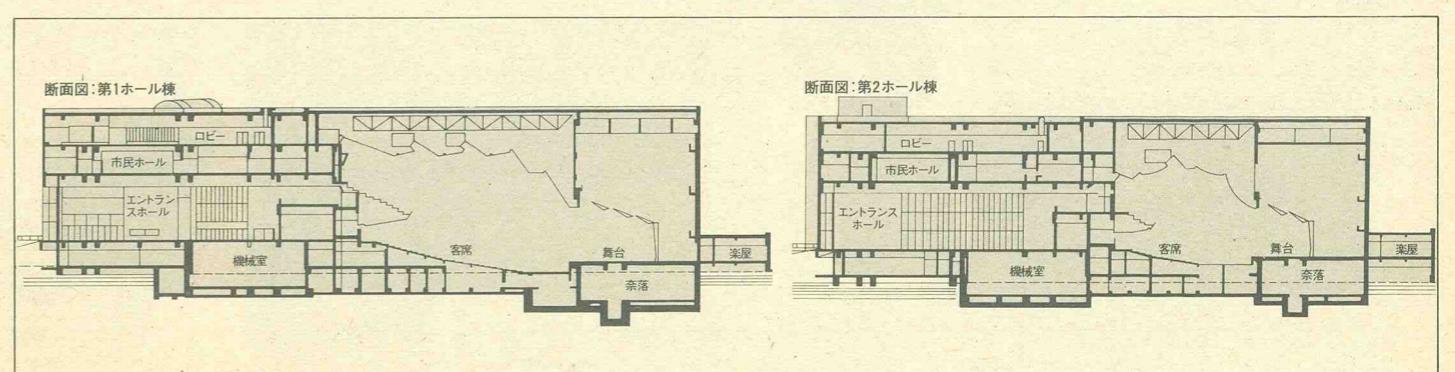
彫金、陽光和譲想…帖佐美行・作



フェイラ…吉井淳二・作



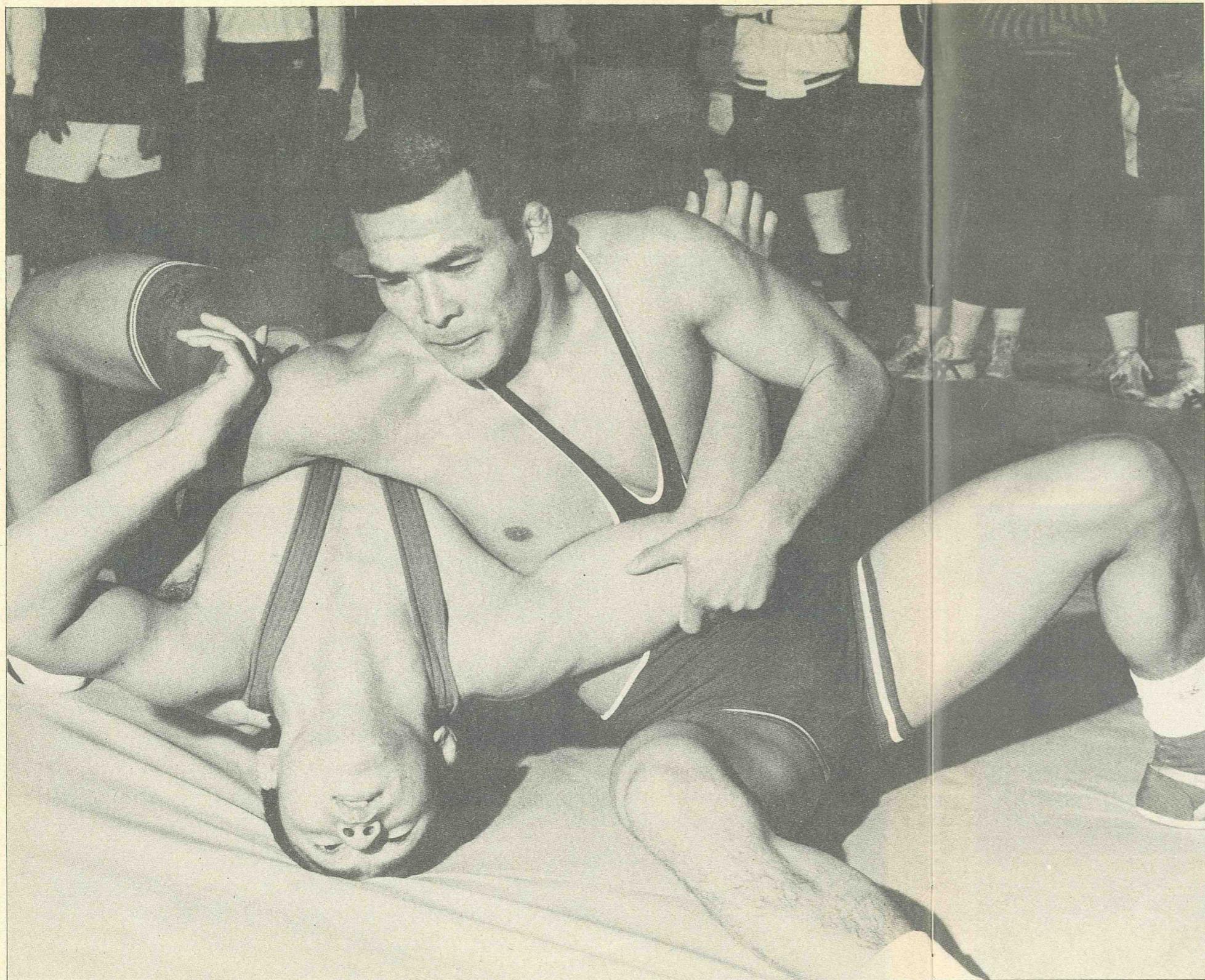
奏でる…中村晋也・作



人物登場

レスリングにかけた青春。

親友・若島津に誓つた約束は「ロス五輪で日の丸を揚げてみせる」



若島津（本名・日高六男）は鹿児島商工の同期生。レスリング部、相撲部で二人とも三年生になるまではほとんど目立たなかつたといふ。だが、内に秘めた闘志はどちらも人一倍だつた。三年生になると頭角を現わし、国体で日高は団体優勝に貢献、朝倉さんはフリースタイル四十八キロ級で優勝した。日高は二子山部屋へ、朝倉さんは國士館大学へ。部屋へよく遊びに行き、お互に励まし合つた。現在も、東京でよく一緒に酒を飲むという。片や横綱を、片や金メダルをめざす男同士、「うまが合うんです」。

生まれてから五歳以上伸びしたことば一度もない」というスポーツ刈りの頭に精かんな面構え。でも、マットからおりた素顔は涙もろい人情家だ。好きな映画は「寅さん」シリーズ。「あんな風来坊の人生もいいですね。でも、ぼくも試合でしおちゅう旅に出るところは寅さんと似てる。いつか故郷に錦を飾りたいという気持ちもあるんですね」と、ロサンゼルスを見つめる目は燃えていた。

小柄な体にあふれるばかりの闘志。自らの練習に後進の指導にと、レスリングに明け暮れる毎日。精かんな顔に、ふと、やんちやな少年時代の面影も……。

●県体育協会競技専門委員

朝倉利夫さん

曾於郡大隅町出身。鹿児島商工高

校を経て、五十四年国士館大学卒。五十四、五十五年全日本選手権フ

リー52キロ級に、五十六、五十七年同グレコ52キロ級に優勝。五十四年モスク

十一年前、鹿屋市で開かれた中学生柔道大会で、補欠で出場した身長一五〇センチそこそこのちびっ子選手が背が三十九センチ高い百キの巨漢を小内刈りで倒した。会場に鹿児島商工レスリング部の加治佐正昭監督がいた。「同じ体格の相手と戦うレスリングなら、お前はもっと強くなれる」。監督の眼力に狂いはない、この少年は七年後に日本一のタイトルを手にした。

いま、県体協の競技専門委員として母校の鹿商工などでレスリングのいい技はない」という。コマネズミのように動き回り、ねちっこくねちっこく攻める。相手をばてさせて少しだつ有利な体勢へ持つていくのが得意だ。闘志にあふれた積極的なレスリングには、負けず

嫌いな性格がよく現われている、と周囲はいう。子どものころからやんちゃ坊主。体の大きい年上の子を相手によくけんかした。負けでもその場では涙を見せらず、家に帰つてから一人で悔し泣きました。

「泣きながら復しゆうの作戦を考えて、必ずお返しした」とか。昨年、カナダで開かれた世界選手権では一回戦でフォール負けてしまつた。実は、離日前に右手の傷からばい菌が入つて丹毒になり、試合前にはふくらはぎが二倍にもはれていた。「緊張感のためか、試合の前日には痛みがひき、いけるんじゃないかと思ったのですが……と頭をかいた。だが、お返しはちゃんとした。インドのアジア大会での金メダル。優勝の瞬間、両こぶしを握つて力強いガッツボーズを見せた。



講座を終えた人たちは自主講座で学ぶ人も…



早田江 上板元町
電 68-762
オ4班 南ヒナ



歌詞を見ながら元気な声で歌う民謡教室



お互いの墨絵をなごやかに批評し合う講座生

「利用者は、子どもから老人まで一日約三百五十人くらいで、二十六の公民館講座が開かれています。小学生向き、若い人向き、お母さん向き、老人向きの講座があります。また、講座を終えたたちは、自主的にグループをつくり、活動しています。そのグループは三十五もあり、約二千二百五十人の人が勉強しています」と中川原先生は話していました。

館内には、すみ絵と習字などの作品がかけてあり、とくに、すみ絵のすずめなど、本物そっくりに書いてあるのにはびっくりしました。

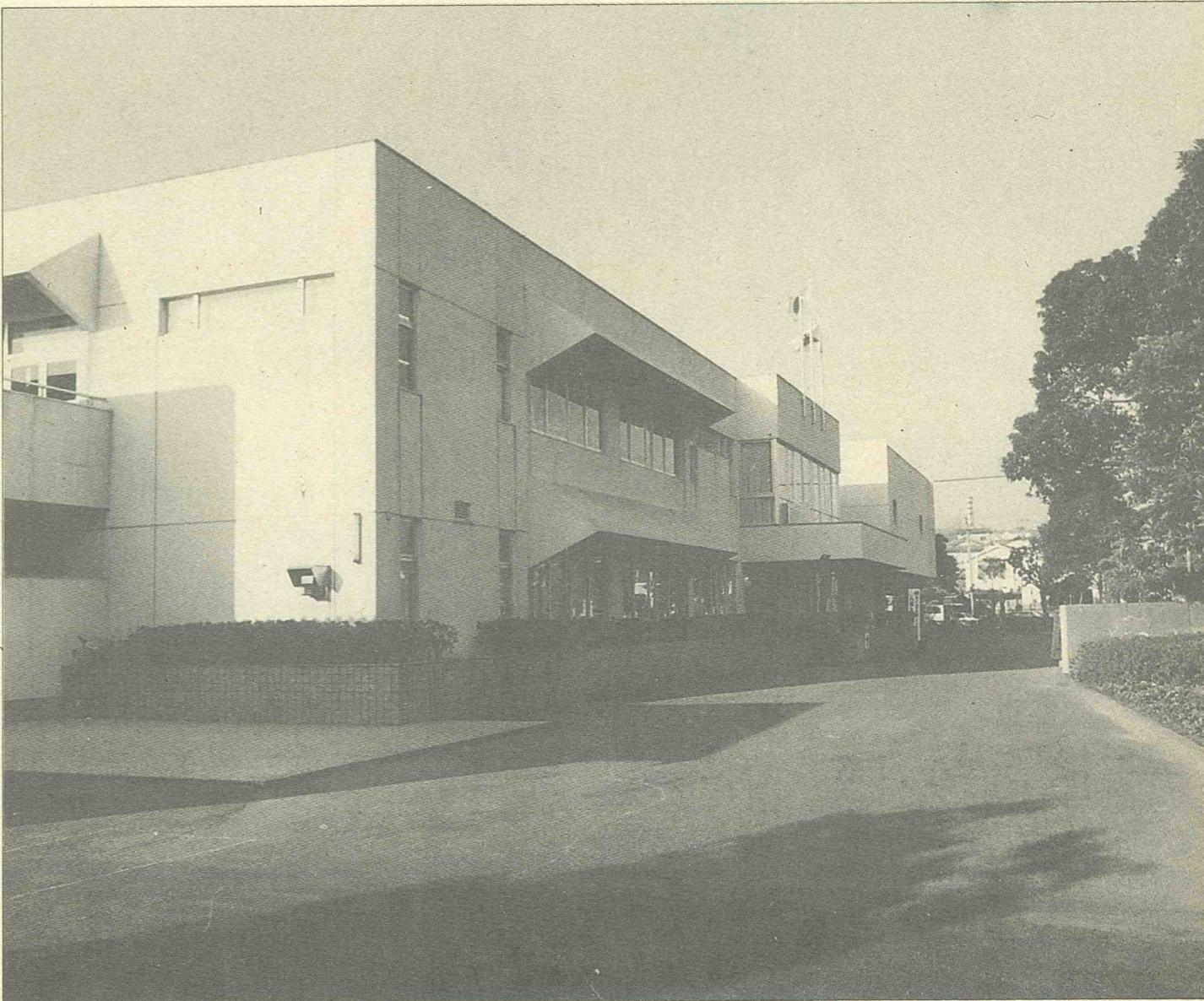
多くの方が利用している谷山市民会館にもなやみがあるそうです。それは、男の人の利用者が少ないということです。そのため、今は男の人向けの講座を開くそうです。「市民会館の方々もいろいろ工夫しているんだな」と、感心してしまいました。

こんな立派な谷山市民会館が身近にあるのですから、もつともつと利用して、思い思いの趣味を生かした勉強や仲間づくりに役立てることができたらと思います。

ぼくらの施設めぐり

谷山市民会館

文／鏑木一朝・森美穂(和田小学校6年)



わたしたちは、谷山市民会館へ見学に行きました。まつ白なかべ、二階建ての大きな建物。見ただけで気持ちのいい、中に入りたくなるような感じです。中はとても広く、学校の体育館ぐらいの広さのホール、和風の大きな部屋、図書室、三つの会議室、そして視聴覚室、まだまだたくさんある部屋がありました。

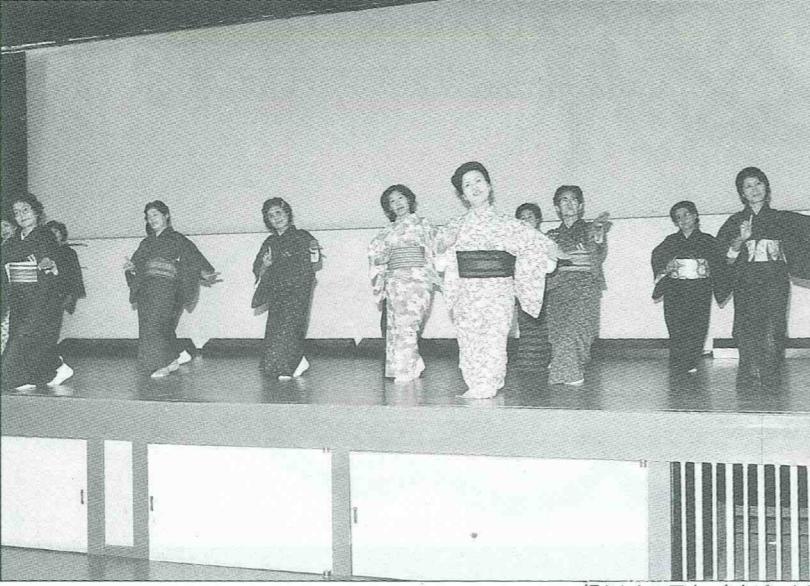


谷山市民会館の概要を説明する中川原館長

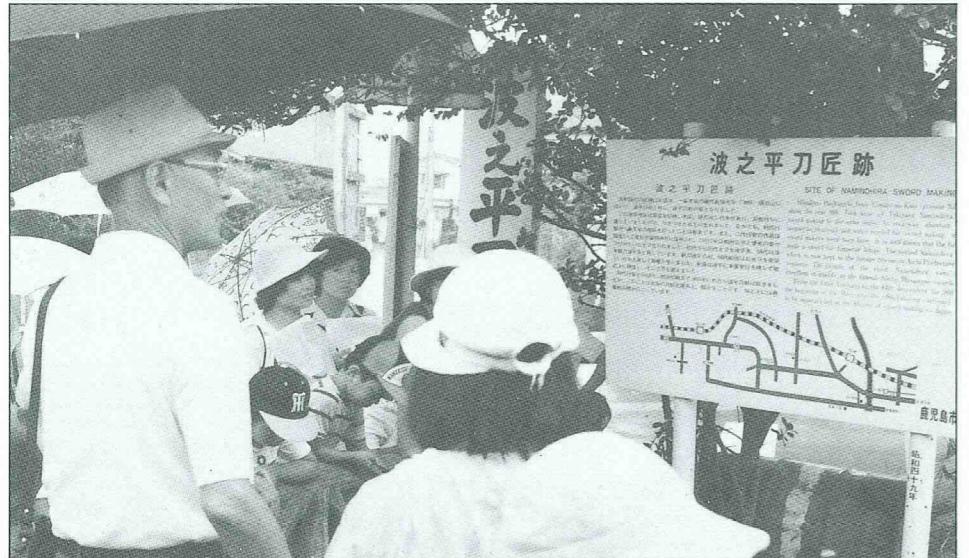
市民の生涯教育の場として、市内には八つの地域公民館が建設され、多くの人たちが水墨画や郷土史などを学び、一方では、仲間づくりに役立てています。
そこで、今回は和田小学校六年生鏑木一朝君と森美穂さんに谷山市民会館を見学してもらいました。



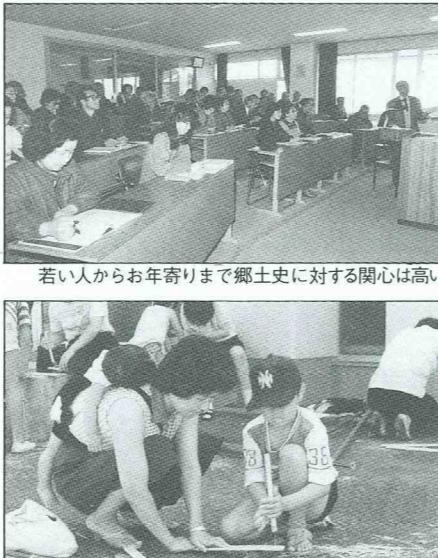
二階には図書館も併設され、貸出文庫も行われる



好きなもの同士、息もピッタリ



谷山の史跡めぐりは多くの子どもたちでぎわう



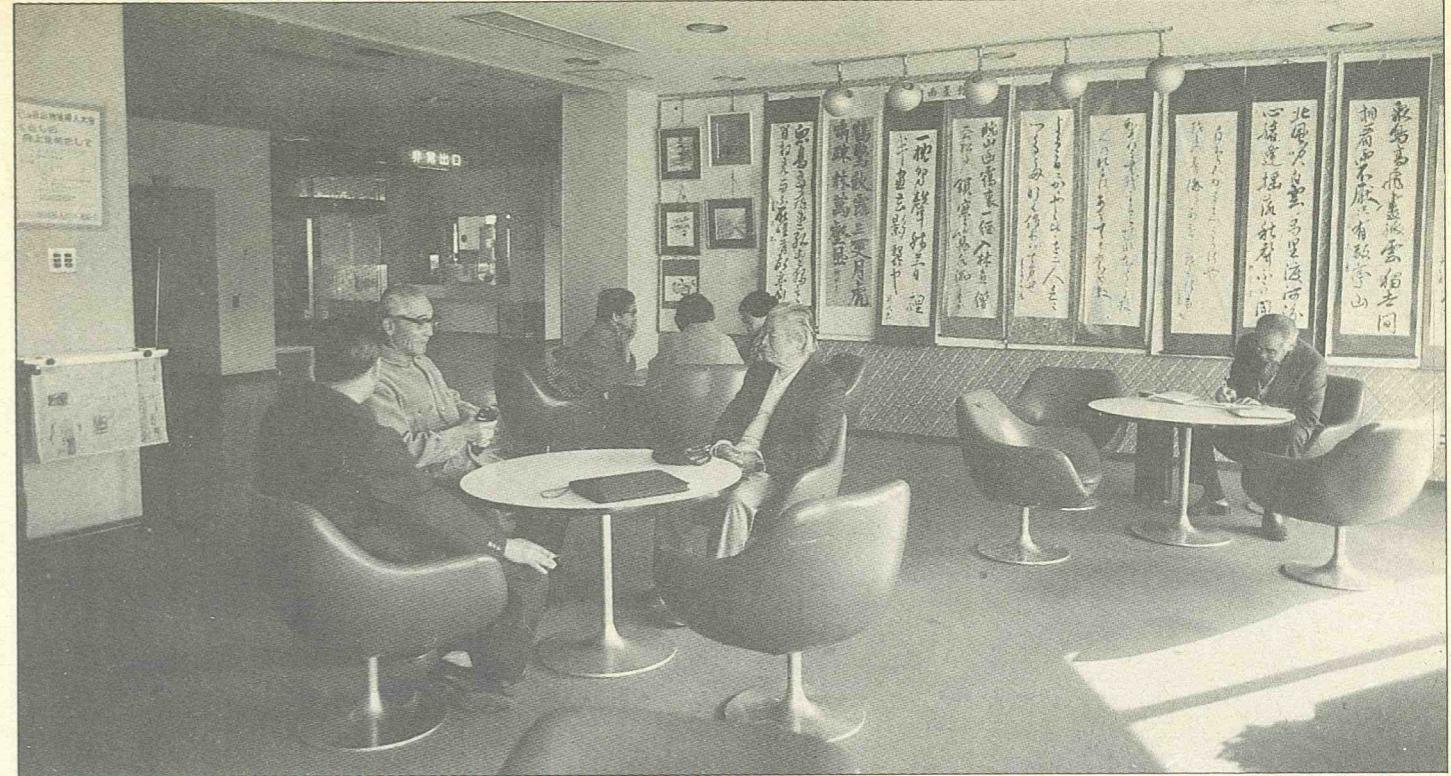
若い人からお年寄りまで郷土史に対する関心は高い



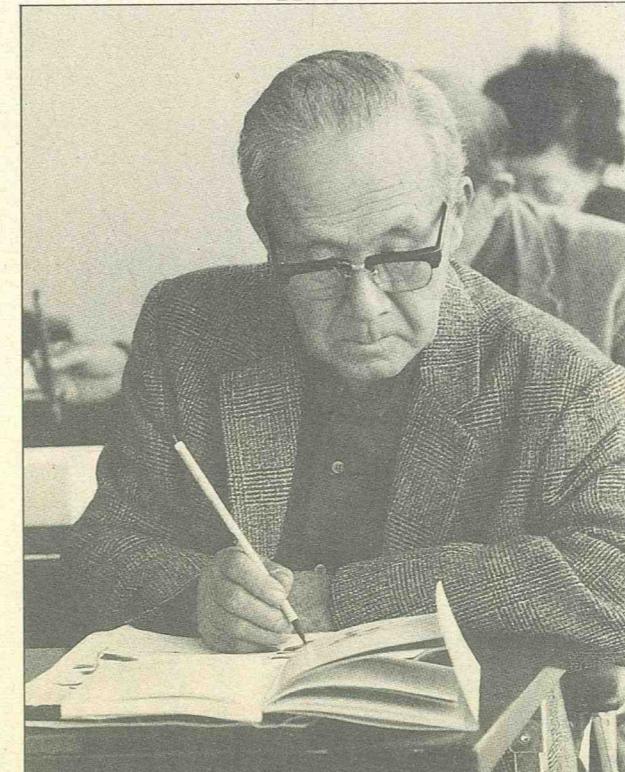
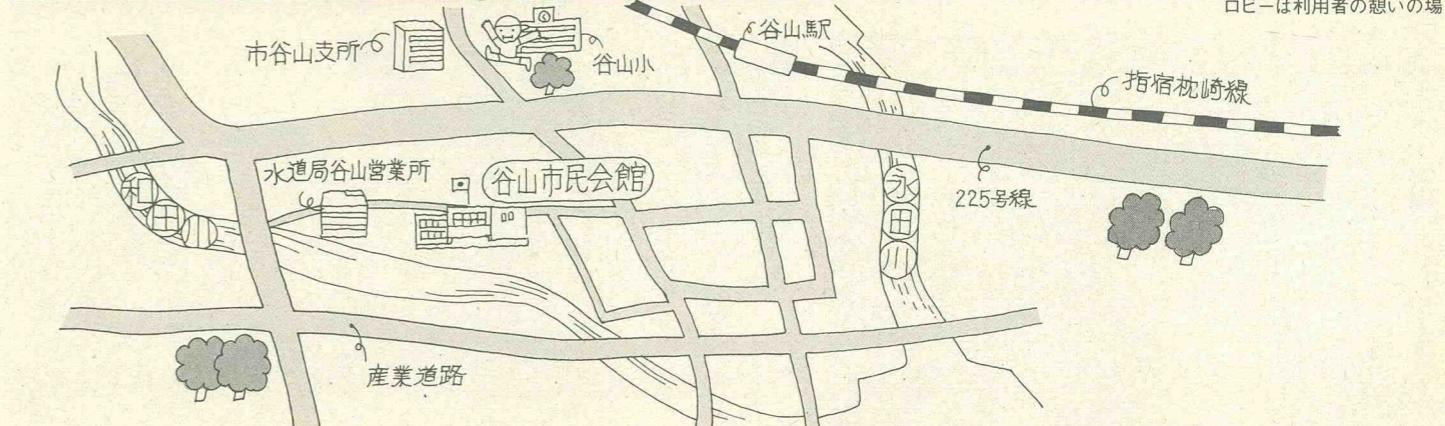
親子のふれあいを深めようと夏休み親子講座も開かれる



秋には文化祭も開かれ、今までの成果が発表される



ロビーは利用者の憩いの場



お手本を参考に真剣に取り組むお年寄り



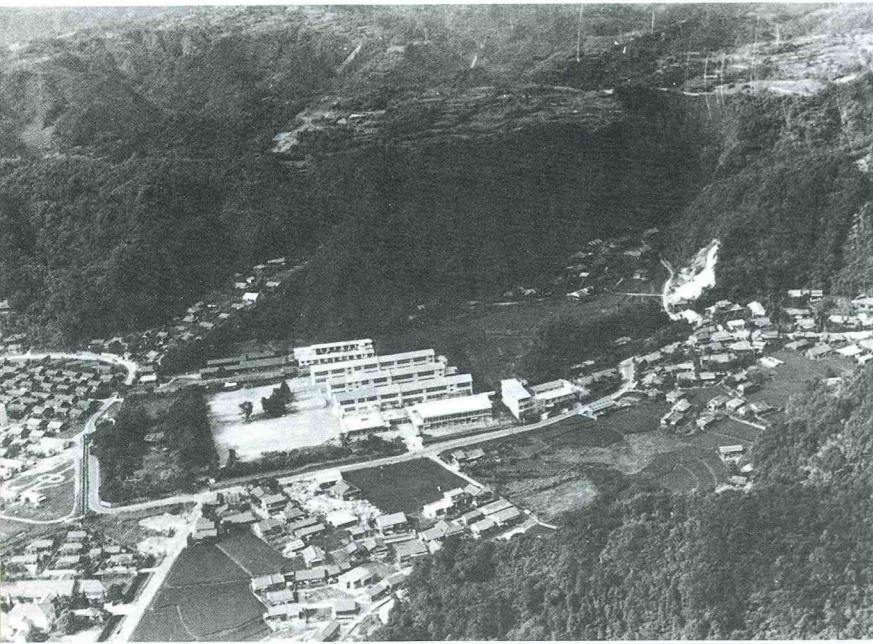
青少年合唱を見学する鏑木君と森さん

昭和36年●

飛んで22年

●昭和58年

空から見た街の表情



玉里・下伊敷

山陰の辺りはわき水が豊富であった。島津の玉里邸を除けば、当時の姿をほとんど留めていない。

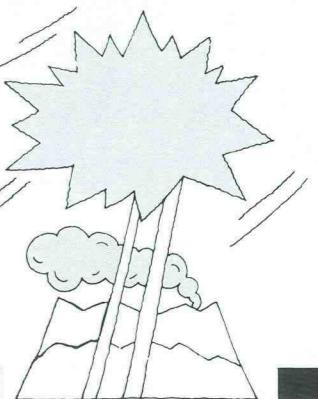
時代の流れで、樟脳試験場は消えた。玉里園も、いしき園と名称を変えて、伊敷団地に移転新築。その跡地まで敷地を広げた女子高は、校舎の鉄筋化が進んでいる。前面の畠地は住宅で埋まつた。前方の台地は団地ブームに乗り太陽国体を機に完成。五十七年、高校総体の水球会場となり、若人の躍動に歓声がわいた。

後方の台地は団地ブームに乗り玉里団地などに様変わりした。



撮影/水谷進

市民のひろば



「市民のひろば」は、MBCから放送されます。放送日時は、毎月第三日曜日を除く、日曜日の午前八時から十五分間。ただし、第四日曜日は三十分間放送。

文化の鐘を高らかに

心豊かで創造力あふれる市民が育つ拠点として、多くの方の英知を集めて建設された市民文化ホール。彫刻のある本格的な洋風庭園を配して、日本でも有数の文化の殿堂が誕生しました。

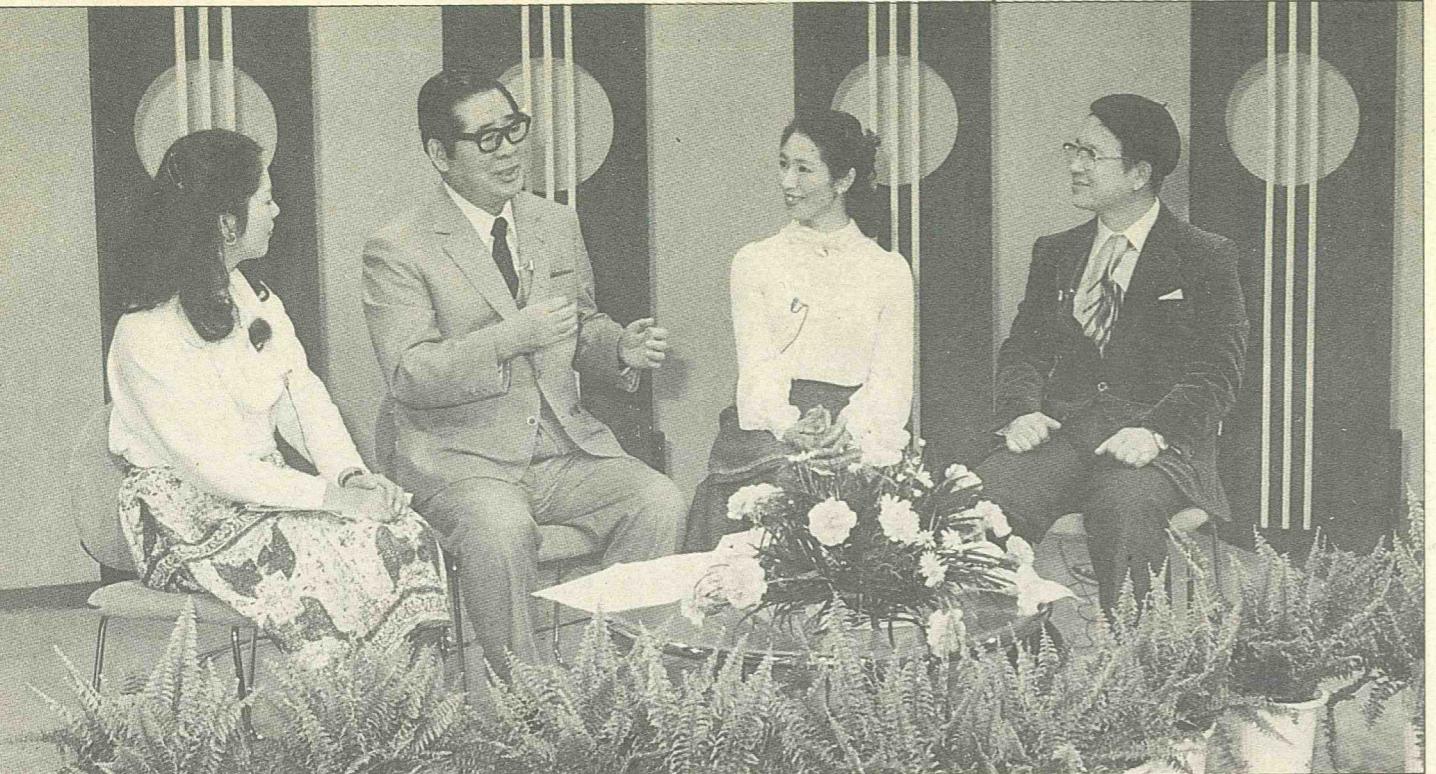
山之口市長を囲んで、ゲストのお二人に、これから花開こうとする鹿児島市のルネッサンスに向けての夢を、大いに広げていただきました。

出席者(敬称略)

中村晋也
司会
白鳥みなみ
鹿児島市長
山之口安秀
島康子

出席者(敬称略)

中村晋也
司会
白鳥みなみ
鹿児島市長
山之口安秀
島康子



新しい自然に生まれ変わるものだなあと感じるんですけれども…。

市長さん、このようなスケールの大きい公園の発想は、どんなところから生まれたのですか。

市長 日本には、洋式庭園というとあまり優れたものがなかつたわけです。そこで、市民文化ホール文化公園を一体とした本格的な洋風庭園を造りたい、そして、一流の彫刻を置いて、市民の皆さんにその美しさを十分に楽しんでいたただけるようなものにしたいと考えておりました。

幸いにして、多くの方々のご協力を得まして、文化功労者で芸術院会員の圓鏡勝三先生をはじめ、日本彫刻界の頂点にある七人の方々の作品がここに設置されたことは、日本ではちょっと例のないことだと思います。私にとつても、待望の夢が実現したという思いがいたします。

高島 中村先生、ご専門の立場からご覽になつていかがですか。

中村 雄大な桜島を背景にいたしまして、庭が勝つわけでもなく、彫刻群と庭がちょうど調和するように配

置されていると思います。

細かなところまで行き届いた配慮が……

高島 続きまして、フィルムは工

ントランプホールのようですね。台をお使いになる立場からご覧

高島 開館を待つばかりとなつた市民文化ホール、ゲストのお二人にご覧になつての感想などからお伺いしてまいりたいと思います…。

白鳥 訪れる人を魅了するような素晴らしい文化の殿堂ですね。鹿児島市にとって新しい財産ができるという感じです。

考えてみると、三十数年前は私どもの唯一のバレエの発表の場は中央公民館でした。それから、文化センターの落成で鹿児島の文化の芽は急速に伸びてきたと思

ます。今度の市民文化ホールは、そこで培われた基礎のうえに、私たち郷土の舞台芸術を一層飛躍させてくれるものと思いますね。

中村 きびしい財政事情の中で、

市長さんがいろんなことを手がけて文化的な環境を整備してくださいことは、市民にとつて大変うれしいことです。その集大成ともいえるこの市民文化ホールですが、五十万都市、鹿児島の文化のシンボルとして誇り得るものができるました。

アプローチとしての文化公園からホールに至るまで、芸術的に見ても一本筋が通つているなどといふ感じがさまざまといたしました。

彫刻の一ひとつが語りかけてくるようです

高島 それでは、フィルムを見ながら話を続けてまいりたいと思

います。最初は文化公園のよう

市長 ここも思いきつてスペースを取りましてね。幕あいを待ついているという感じのする一点一点の作品が、いかにも以前からそこにあるというようななたたずまいを見せておりまして、歩いてみますと、その一つひとつが語りかけてくるような感じがいたしました。ホールまでのアプローチとして、これだけ素晴らしいものがありま

すと、今から、心はずませている舞台を、夢を描きながら心の準備ができるような、本当に心豊かな気持ちしてくれると思います。

市長 ここも思いきつてスペースを取りましてね。幕あいを待ついろいろなお客様が桜島や錦江湾を一望にしながら話をはずませる…

素晴らしいことだと思います。そして、ここは本県出身で彫金界の第一人者・帖佐美行先生の超大作

「陽光和讃想」や、やはり郷土の先輩である吉井淳二先生の「フェイラ」

と題する二百号の大作、さらに留岡彬先生の作品や、今日ご出席の中村先生のブロンズも入ることになつています。

したがつて、もう美術館といつてもいいくらいの素晴らしい芸術品が集まつてくるわけで、計り知れない期待を持っております。

白鳥 画面には第一ホールがでておりますが、白鳥先生、実際に舞

台をお使いになる立場からご覧

すね…。



●白鳥さん

になつた印象などは…。

白鳥 客席と舞台との感じもとて
もいいです。色彩も暖かみがあ
つてよろしいですね。音響効果も

素晴らしいということですが、ス
テージが正方形ということも理想
的なことなんです。

楽屋につきましても、舞台と同
じフロアにあります。大変使いや
すいですし、各ホールには「母子室」

というのが、設置されています。
赤ちゃんを連れたお母さんも、他
のお客さまに迷惑をかけることな
く、安心して舞台を楽しむことが

できるんです。細かなところまで
行き届いた配慮というものを感
じました。

それから、緞帳の方も素晴らしい
ものばかりでございますね…。

●市長さん
第一ホールには、鹿児島を世界
の玄関口として大きく発展させよ
うとの願いがこめられた「南の起点」
と「海」。第二ホールには、緑に囲ま
れた美しい環境をうたいあげた「緑
のネットワーク」と神話のふる里を
結ぶ夢を描いた「霧島連峰」という
ことで、それぞれ大変すぐれた出
来栄えです。

それから、市民ホールの方は小
じんまりしておりますが、皆さん
の日頃の成果を発表する場として
気軽に利用していただきたいとい
うことで、緞帳の方も「泣こかい飛
ばかい泣こよかひつ飛べ」という鹿
児島のわらべ唄から題材をとった
ものです。

ここから広げたい
新しい文化のうねり

高島 最後に、お二方に、文化の
香り高い鹿児島の将来に向けての
事な役割をもつてているものだと
思うんです。幕を待つお客様の期
待感をさますことなく、心をなご
ませ、ゆとりとやすらぎを与えて
くれるものでなくてはなりません。
それから、郷土の自然なり心を表
現したものをということで、ずい
ぶん心を配りました。

第一ホールではイギリスのロイヤル
シェークスピア劇場とか、フランス
のコメディ・フランセスとか、そう
いう一流のものを観賞するために
市民が、そして、観光に訪れてい
る人たちもまたそこに集まつてくれ
る…。そのフェスティバルを観光
資源として、鹿児島の良さが生か
され、文化的な交流が促進されて
いく…。そのようなことは、もう
夢ではないような気がいたします。

中村 芸術というものは、私たち

人間の夢の「証」のようなものだと
思うんです。その夢をいっぱい詰
めこめるすばらしい殿堂ができた
ということなんですが、これだけ
の施設をどう将来盛りあげていく
かということは、私たち市民にと

ないかと思います。
最近は、文化の時代とよく言わ
れます。そして、新しい鹿児島の時
代というものを、ここから創りあ
げていきたいと思っています。
最後になりましたが、これだけ
のものをつくるに際しまして、深
い理解を示していただいた市民の
皆さん、財界の方々の多大のご協
力とご援助に心から感謝申しあげ
たいと思います。

高島 皆さん、今日はどうもあり

がりました。そして、近い将来、
新しい美術館というもう一つの核
ができることがあります。これら
が両輪となつて、大きな「うねり」が
できてくる。これは、今日の美術、

明日の芸術というのではなくて、
将来に向けての大きな「うねり」と
なるものだと思うんです。この殿
堂がその出発点、いわゆる起点に
なるんだと思いますね。

市長さん、お話を伺つての感想
が提言などをお伺いしたいと思
います。白鳥先生、いかがですか。

白鳥 鹿児島は観光都市でもあり
ますし、文化的な面での内外との
交流を盛んにしていただきたいと
思います。

そして、この市民文化ホールを
中心に、国際的なフェスティバル
が催されたらなあと期待してい
ます。第一ホールではウイーン

フィルやボリショイバレエが、第
二ホールではイギリスのロイヤル
シェークスピア劇場とか、フラン
スのコメディ・フランセスとか、そう
いう一流のものを観賞するために
市民が、そして、観光に訪れてい
る人たちもまたそこに集まつてくれ
る…。そのフェスティバルを観光
資源として、鹿児島の良さが生か
され、文化的な交流が促進されて
いく…。そのようなことは、もう
夢ではないような気がいたします。

今ここに、市民文化ホールとい
う一つの大きな文化の核ができあ
がりました。そして、近い将来、
新しい美術館というもう一つの核
ができることがあります。これら
が両輪となつて、大きな「うねり」が
できてくる。これは、今日の美術、

明日の芸術というのではなくて、
将来に向けての大きな「うねり」と
なるものだと思うんです。この殿
堂がその出発点、いわゆる起点に
なるんだと思いますね。

民一人ひとりが考えていかなければ
ならないことですね…。

市長さん、お話を伺つての感想
を交えながらお願いします。

市長 白鳥先生、中村先生、今日
は格調の高いお話をいただきまし
て、ありがとうございました。

高まる文化活動の拠点として、
出会いの場、心ふれあう場として
市民の皆さんと一緒にこの市民文
化ホールを育てていきたいと思
います。そして、新しい鹿児島の時
代というものを、ここから創りあ
げていきたいと思っています。

市長さん、お話を伺つての感想
を交えながらお願いします。

おわびして訂正します。

●おわびと訂正

前号の出演者、鹿児島経済同友
会常任監事、海江田順三郎氏の肩
書きを鹿児島経済同友会代・監事
と誤って掲載していましたので、
おわびして訂正します。

市長 緞帳というのとは、大変、大

高島 最後に、お二方に、文化の
香り高い鹿児島の将来に向けての

かということは、私たち市民にと

していくかということは、私たち市

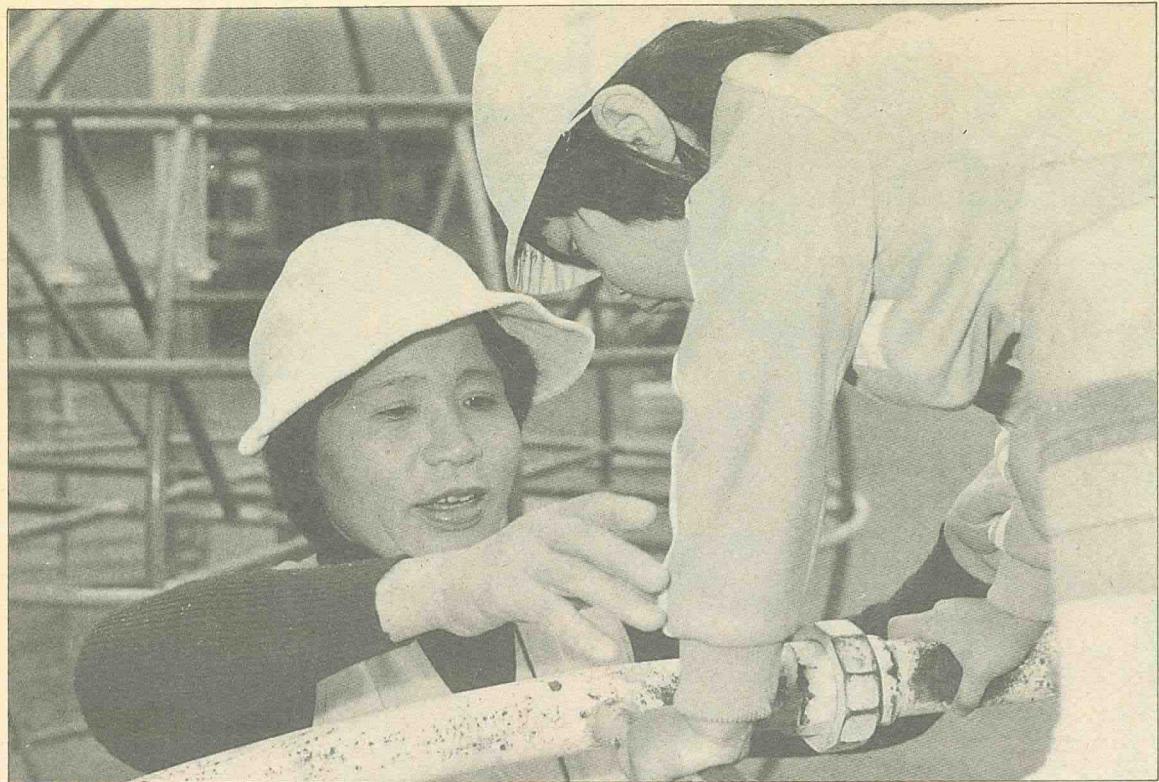
市長

緞帳というのとは、大変、大

奥様こんにちは

幼稚園主任教諭

松山 知子さん



開園と同時に園へ。「この七年、情緒豊かな子どもたちの中にあって、びっくりすること、教えられることが多くて。毎日がとつても楽しいですよ」「朝、会わせた時の元気な顔で帰つて行つてもらいたいですねえ。そのことに気を使います」。話す間にも「かわいい！」と言う言葉が何度も飛び出し、園児への愛情がうかがわれる。

お話を伺つてゐる間にも、「先生折り紙できたよ」「次はどうするの」「ごはん食べたよ」…大変です。卒園した子どもたちは園の運動会にも参加してくれ、今でも、必ず声をかけてくれるので、うれしさもひとしおだと言う。

中学校教諭のご主人とは職場結婚とか。でも、なれそめまでは聞けなかつた。

「お母さんは本当に厳しかつたよねえ」と言う二人の娘さん。「強い信念と責任を持つて生きてほしい。眞の愛情とは、やさしさの中に厳しさのあるものだと思います」。

今日も、元気な子どもたちの声が飛びかう。「知子先生、大好き」。

運動の時間—体操の次は、男の子が平均台を準備して、とび箱、マット、ジャングルジムと…。三歳児二十人。自分の番が終わると、何を始めるかわからない。

運動の時間—体操の次は、男の子が平均台を準備して、とび箱、マット、ジャングルジムと…。三歳

児二十人。自分の番が終わると、何を始めるかわからない。

あなたの

スヌーピー

新春ジョギングフェスティバル

新春ジョギングフェスティバル

健康法として、ジョギングが市

も、今年で三回目。

会場の与次郎ヶ浜には、快晴の
もと、さまざまなジョギングスタ

イルの市民が集まつた。二歳の子
供から八十五歳のお年寄りまで、

参加者は六百人を超えた。

家族や友人同士のグループで、
和気あいあい、のんびりしたジョ

ギングを楽しんでいる。

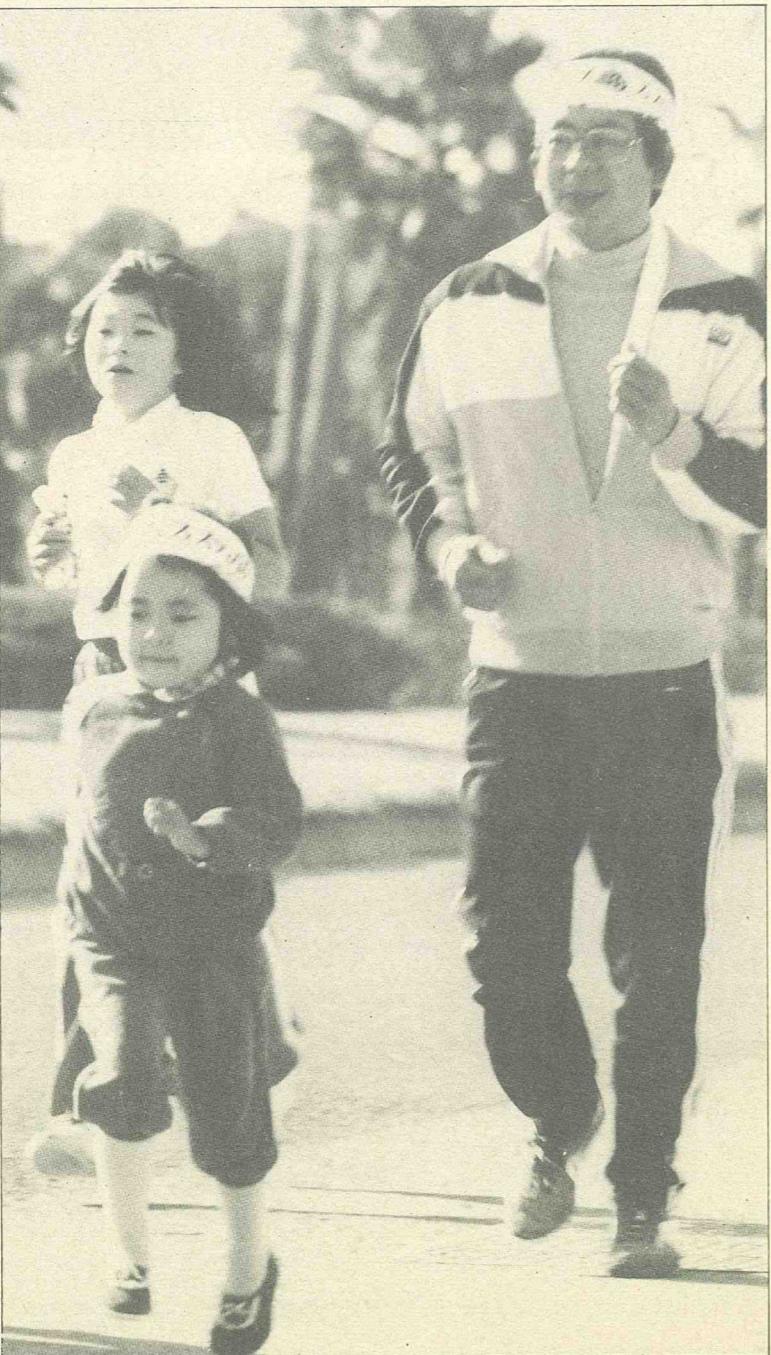
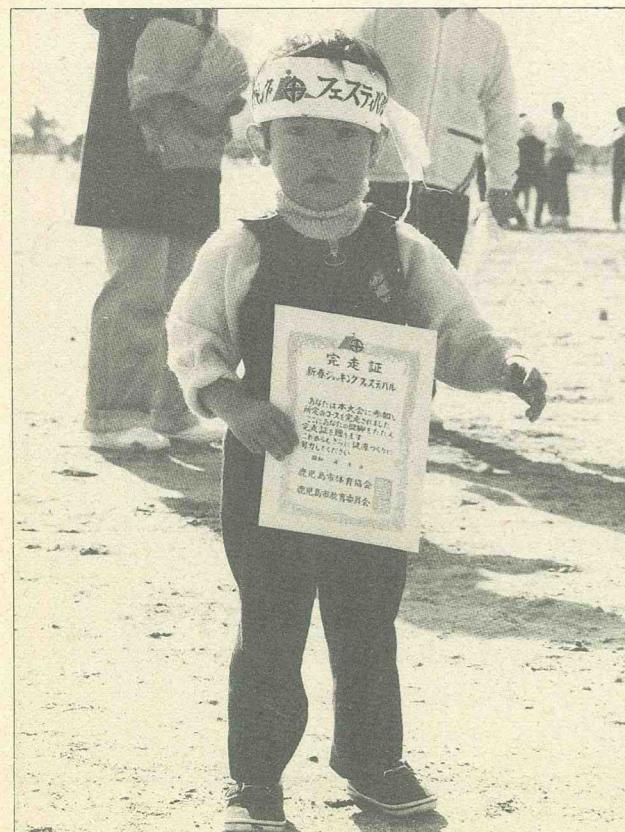
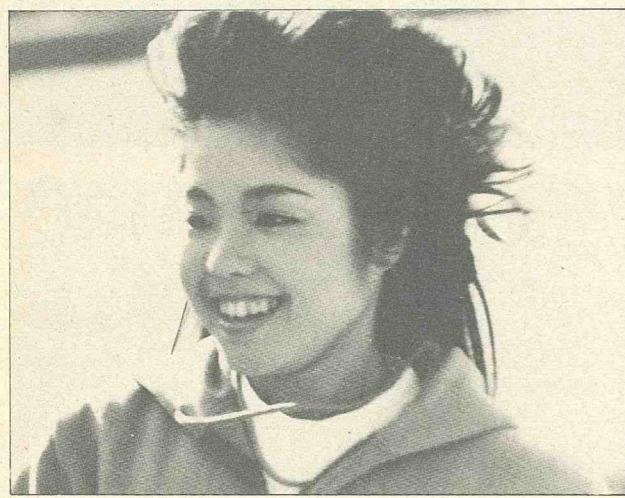
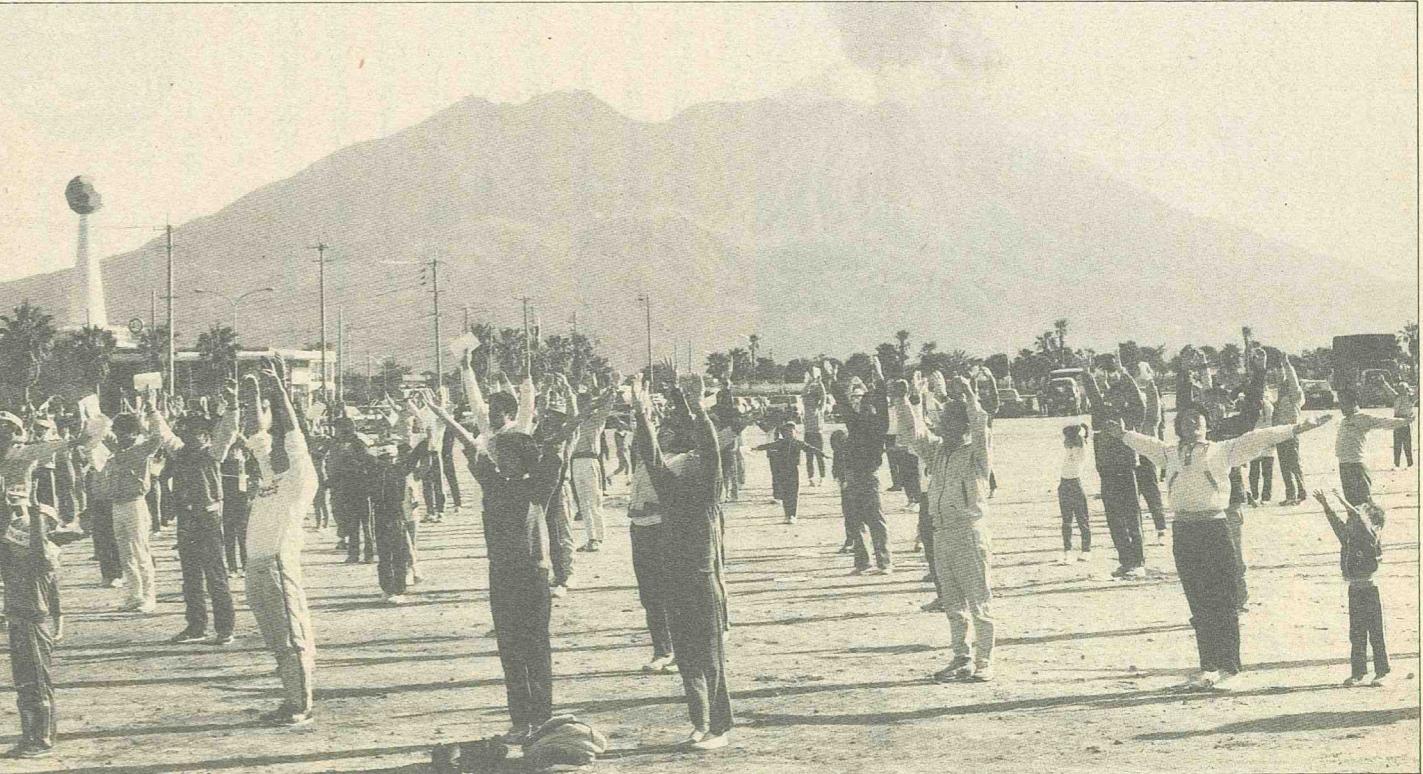
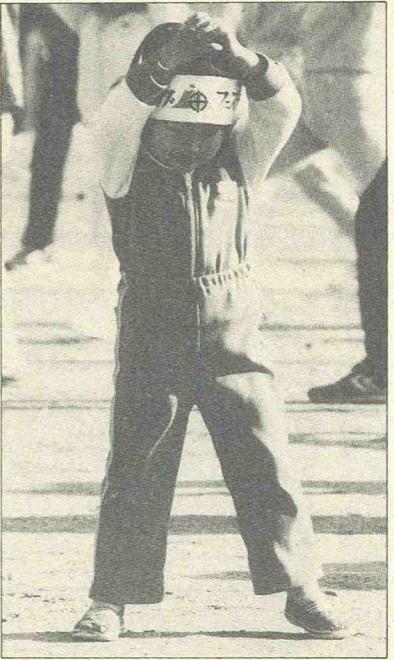
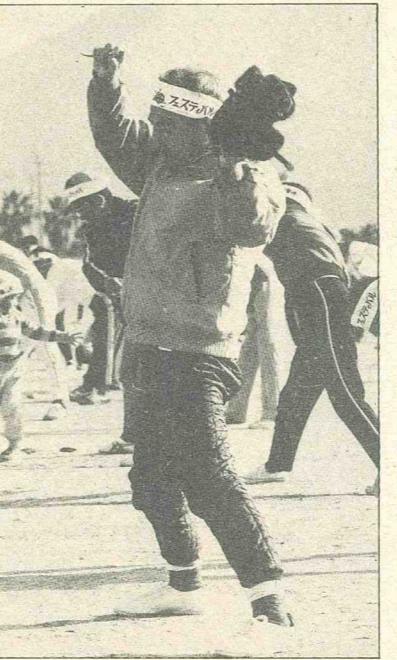
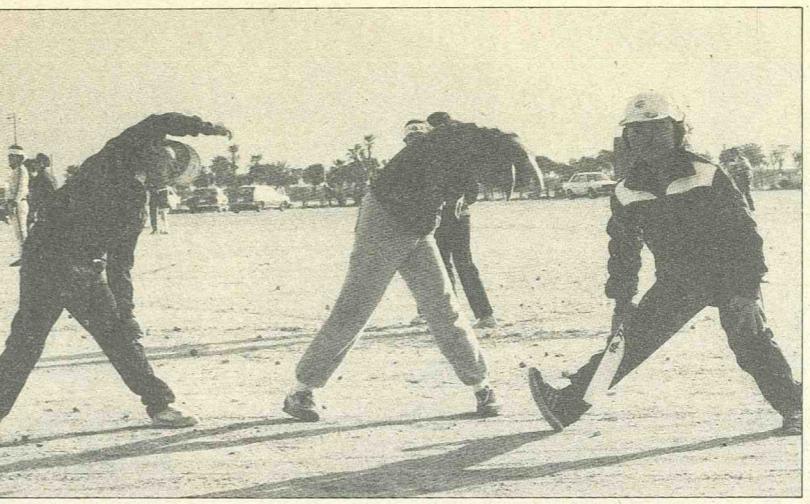
吉野町一七八五—六

写真と文／大石至人

民権を得て久しい。鹿児島市内で
も早朝、黙々と走っている人の姿
をみかけることが多くなつた。

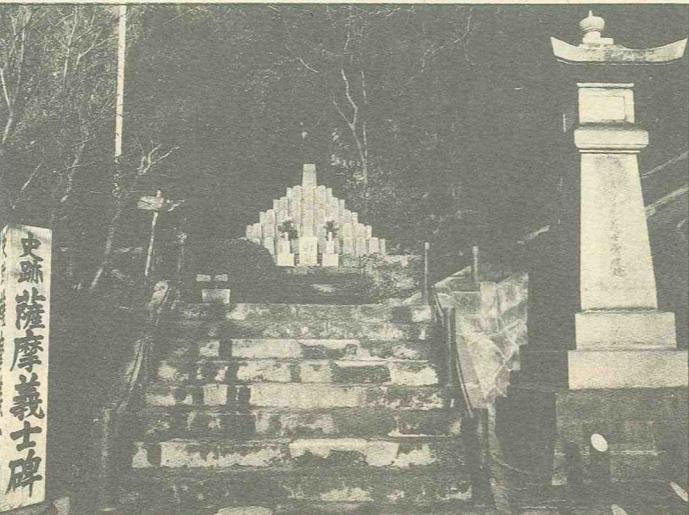
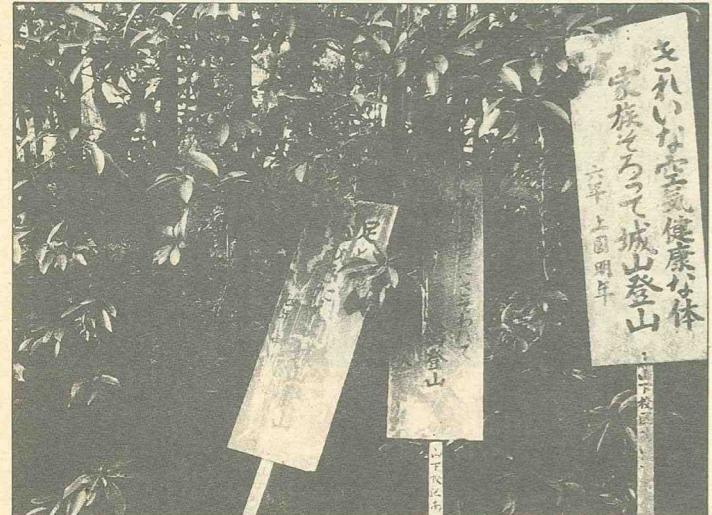
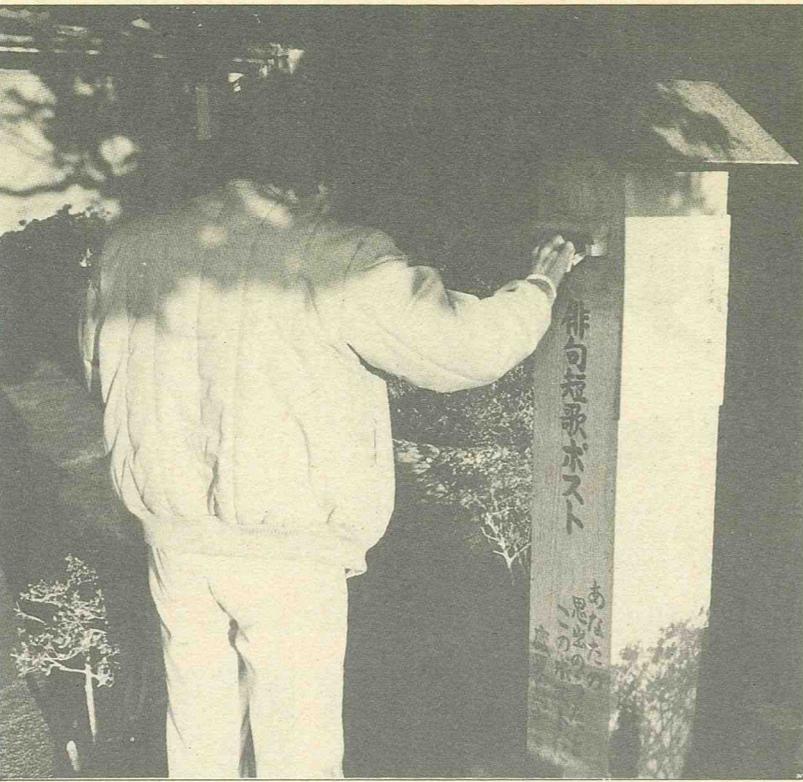
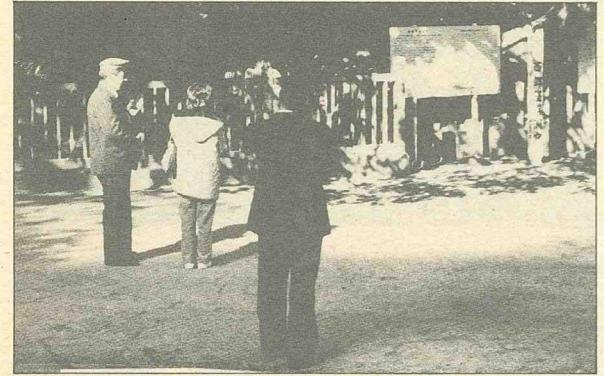
この日、早春の光の中、人びと
のまぶしい姿が次々と私のファイ

ンダーの中を走り去つた。



あなたの

みやび



城山

早朝の城山には、人はまばらで職場へ向かう車が列を作っている。その列を横目に、カメラを携えて歴史の時間をさかのぼつた。

歩みを進めることに、先人たちの城山に対する思い、私たちが城山に持つイメージが交互にわいてくる。いにしえの空間と現実の空間が微妙に交錯し、城山の存在が大きく見えてくるから不思議だ。頂上から見る道路、ビル、住宅群、そんな風景の中に懸命に生きる人びとの姿も見えてくるような気もする。

今、私の中の漠然とした城山が少しづつハッキリしたものになつてきている。

写真と文／中馬富士雄

武一丁目26-1



笠松と慈眼寺

句い立つような
芽立ちが好き。

「暁の会」主宰 辺見京子

笠松は自然がいっぱい…。麦秋には麦が熟れ、たばこの頃はたばこの花、と季節の巡ってくるのが正確にわかるんです。そう、菜の花とソバの花が一番好き。土の匂いもね。秋の夜など、鈴虫や松虫の鳴く音がすごいんですよ。家にもトコトコと入ってきたり…。

ここのお宅にはモニュメントがある。慈眼寺公園への道すがら、目にとまるんです。時々、変わつて楽しみですよ。

いつも、そうめん流し場から、ず一つと下へ歩くんです。あつ、今はウグイスですね。声がするでしょう、あの辺りよ。メジロもいそうだけど…。

夏は三光鳥が美しいの。でも、木が茂つて、肉眼ではとらえにくいですね。セキレイは、しようと歩つていうか、私は俳句の吟行と野鳥の観察ですね。句帳と双眼鏡、図鑑をもつて出水や佐多岬にもよく出かけます。そう、句をつくるのは、夜ふとんの中で寝つくまでの間ですね。

島津の殿様も代々、慈眼寺には崇敬が厚かつたそうですね。

あら、野鳥の会の人たちが来ていますよ。ここは、鳥を見るには手近で格好の場所なんです。

散歩つていうか、私は俳句の吟行と野鳥の観察ですね。句帳と双眼鏡、図鑑をもつて出水や佐多岬にもよく出かけます。そう、句をつくるのは、夜ふとんの中で寝つくまでの間ですね。

島津の殿様も代々、慈眼寺には崇敬が厚かつたそうですね。

慈眼寺公園は、特に初夏がいいですね。楓の若緑の頃が…。今時期の木々の芽立つ勢いもね。句いの立つような感じで。

春日射入れてふくらむ道の籠

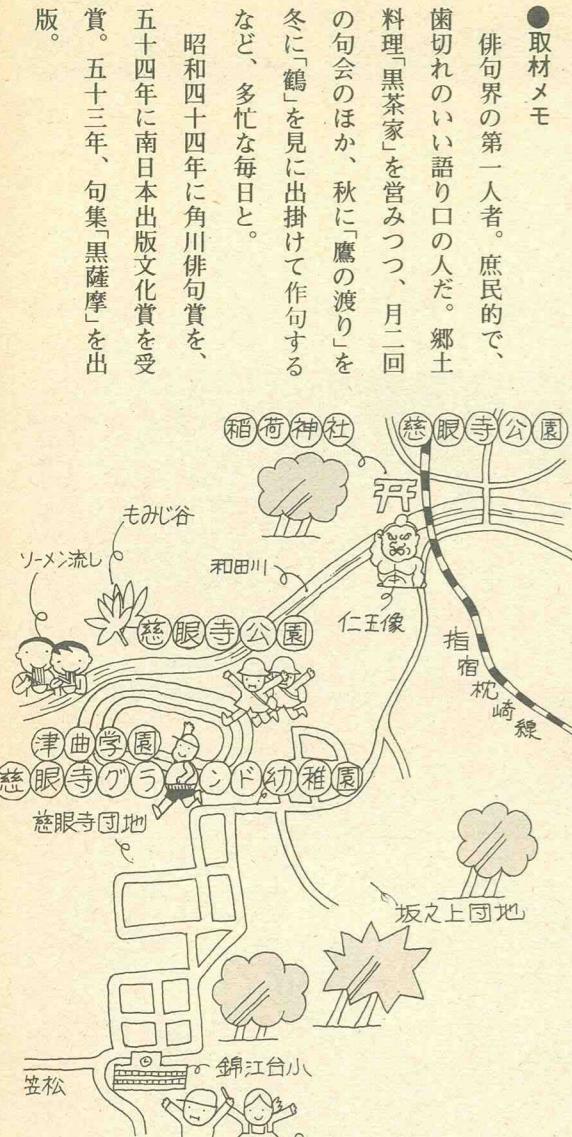
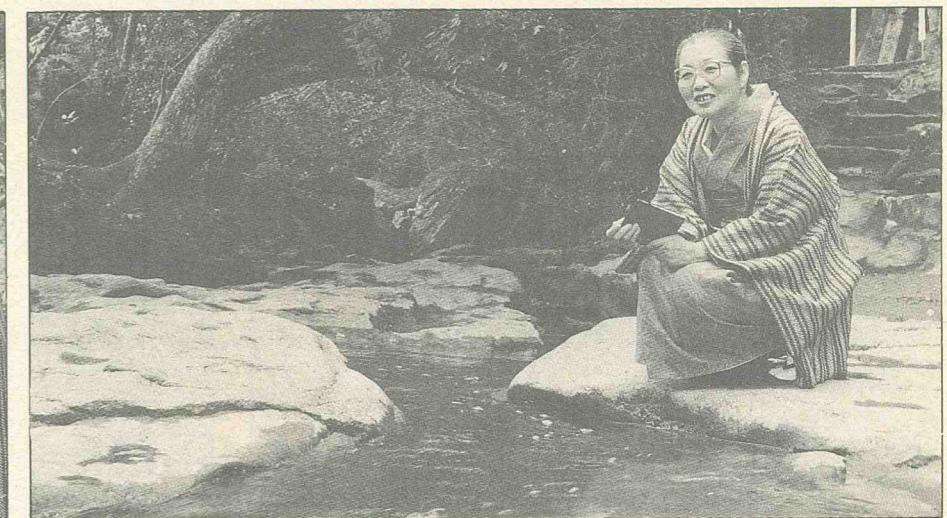
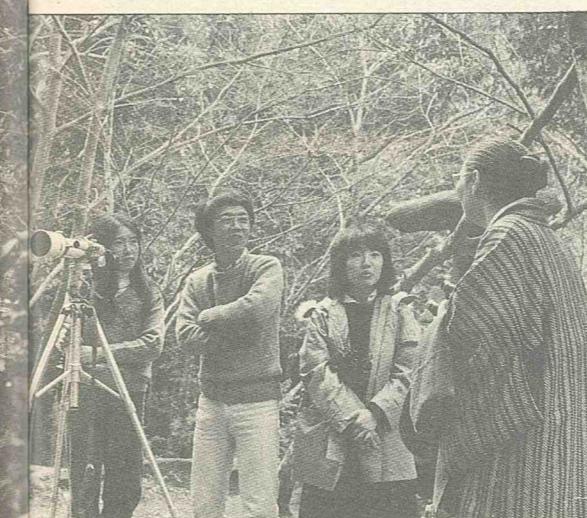
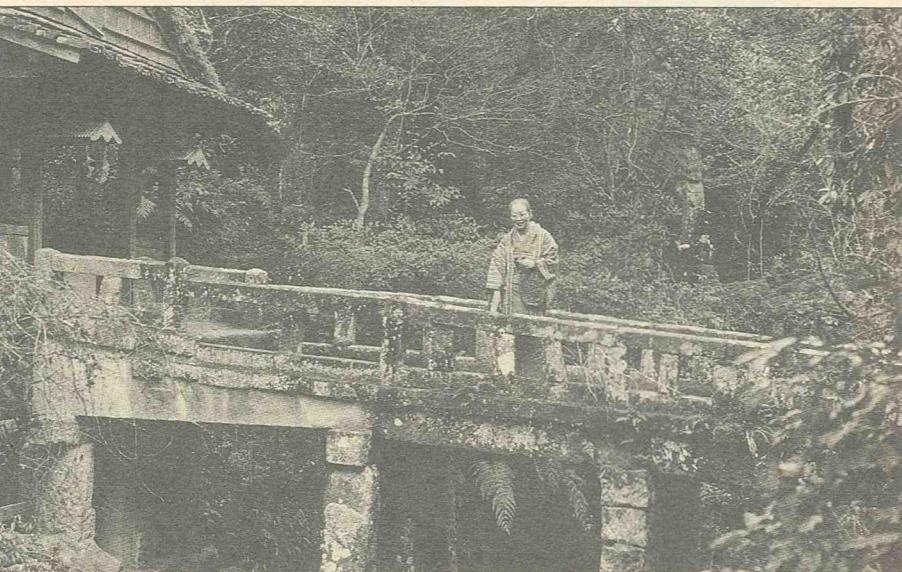
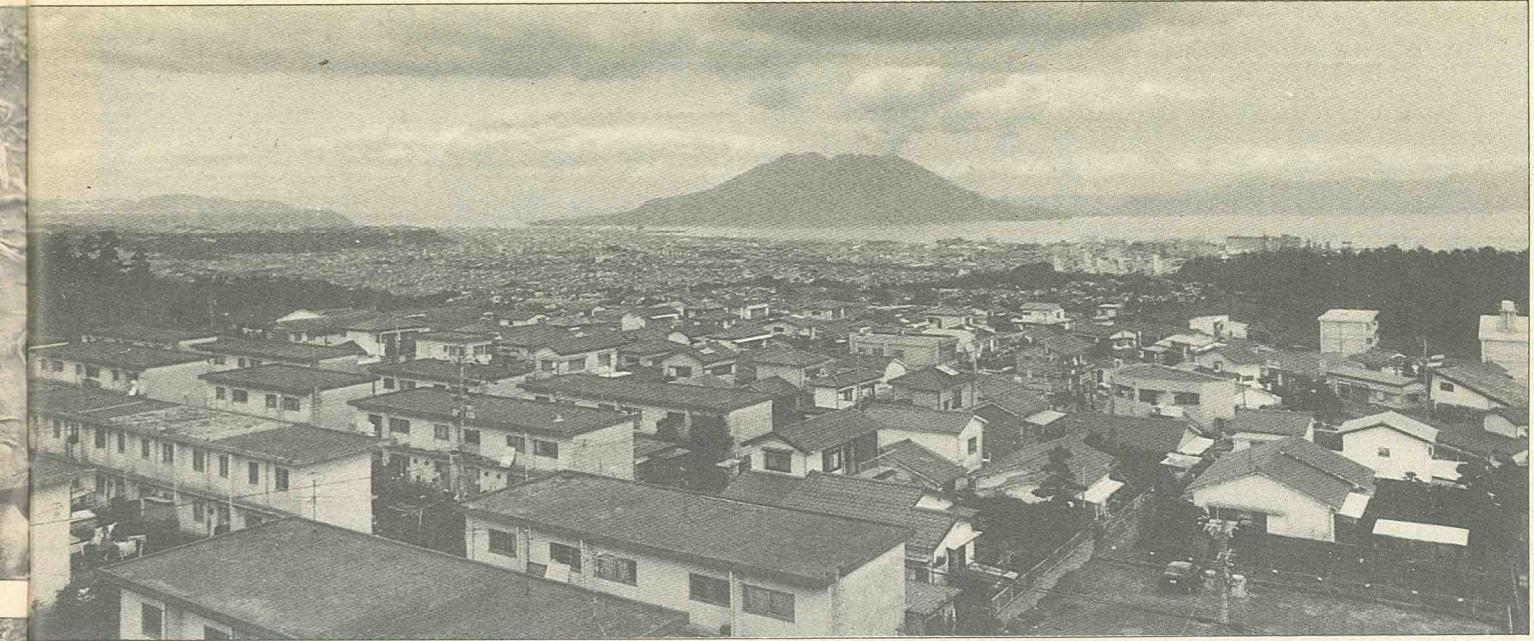
京子

川原の平らな大きな石も、清流も素晴らしい。多くの人びとが渡つたでしようね。

この稻荷大明神は廢仏毀釈のあと、觀音堂跡であるここへ移されたといいます。慈眼寺—歴史の重みがズシリと伝わってくる思いがします。

(談)

わたしの散歩道



●取材メモ
俳句界の第一人者。庶民的で、歯切れのいい語り口の人だ。郷土料理「黒茶家」を営みつつ、月二回の句会のほか、秋に「鷹の渡り」を冬に「鶴」を見に出掛け作句するなど、多忙な毎日と。

昭和四十四年に角川俳句賞を、五十四年に南日本出版文化賞を受賞。五十三年、句集「黒薩摩」を出版。

版。

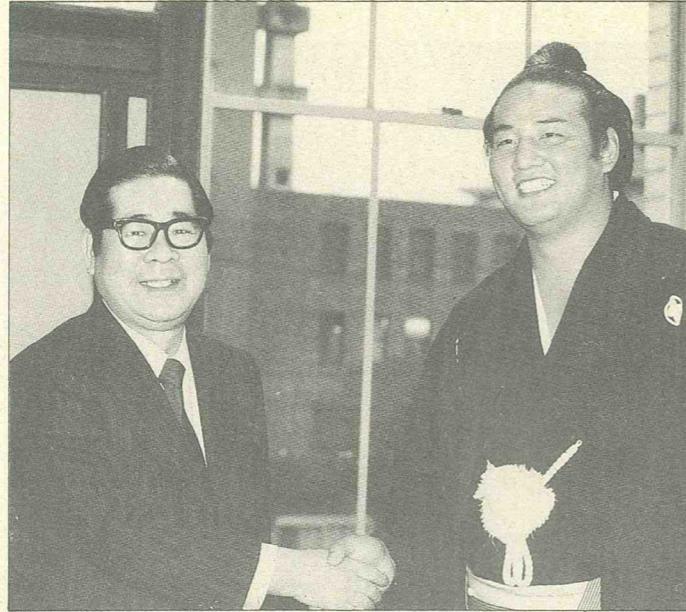
11月25日・ミスオーストラリアが表敬訪問

姉妹都市のパース市から、ミスオーストラリアのスー・バントックさんが山之口市長を表敬訪問しました。



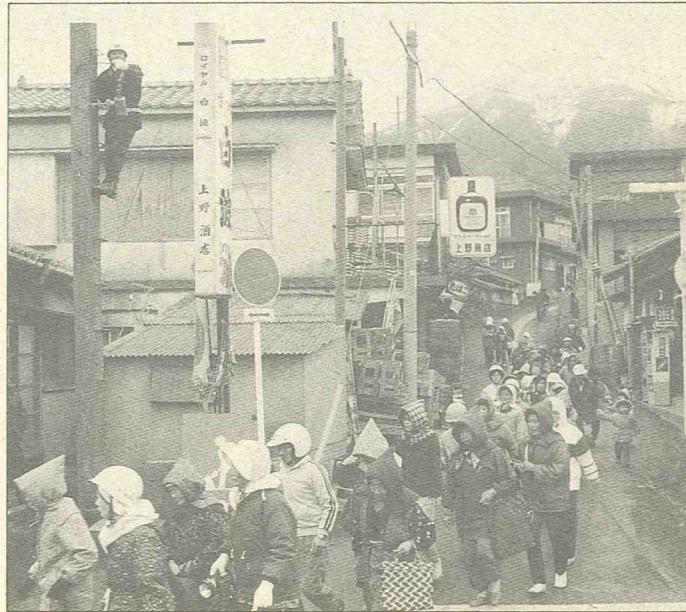
12月5日・大関若島津、市長を表敬訪問

12勝3敗の好成績をあげ、大関昇進の栄冠を勝ち得た若島津関が市長を表敬訪問、市長は「次は網取りを」と激励しました。



1月6日・市消防出初式

消防職員、団員など約1000人が参加して恒例の市消防出初式が市民広場で行われ、永年勤続団員らが表彰されました。



1月12日・桜島火山爆発総合防災訓練

桜島町白浜地区では、地元の白浜婦人会や警察など31団体、約1200人が参加して、避難訓練や救出訓練などが行われました。

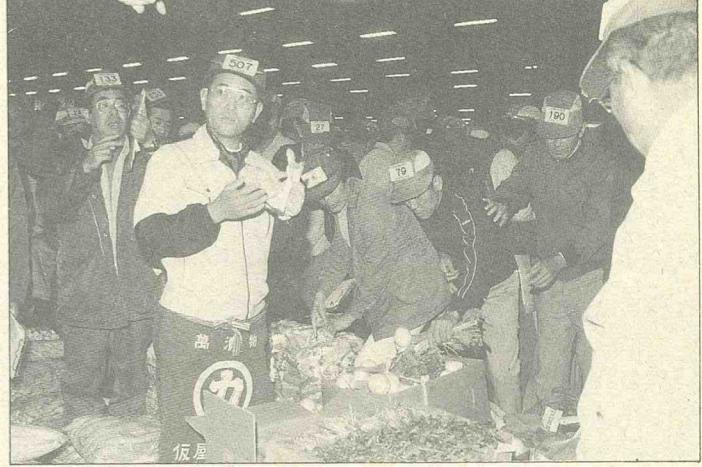
12月27日・大型ロードスイーパーがお目見え

降灰除去や路面清掃などに威力を發揮する大型ロードスイーパーがお目見え、補修工事課に配置されることになりました。



1月5日・初セリ

青果市場では、まだ夜も明けやらぬ午前7時、市長あいさつや振鈴、手縊めなどの儀式のあと、セリが始まりました。



1月15日・新成人のつどい

市内の新成人は7757人。県体育館では約3000人の若人が参加して新成人のつどいが行われました。

あの店

この店

稻森靴店

山下町

限られた狭いスペースに無駄なく収納、配置された道具類。そこで仕事が段取りよく進む。

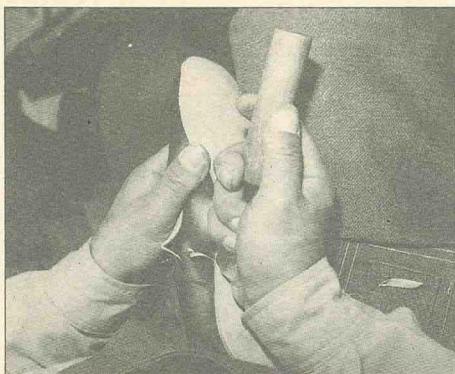
計る、切る、縫う、打つ、この作業を何度も経て八時間余り、文字通り、革が化けて一足の靴ができあがる。

「人の足は、朝より夕方の方が手指一本の厚さの半分ぐらい長いんです」靴のはき心地の微妙さは、

これと関連がある。注文の時の採寸、靴の型を決める木型製作は特に重要だ。

ご主人は三代目。「皮膚の傷は治るが、革の傷は元に戻らない」と

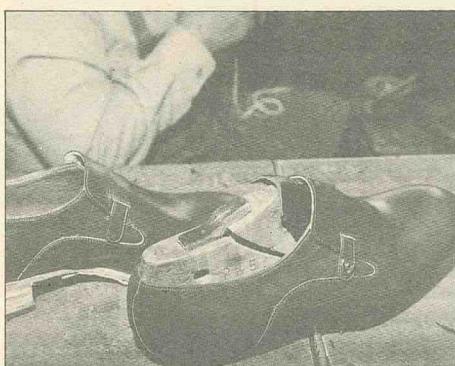
修業時代にたたき込まれた。慎重で丁寧な仕事ぶりに職人気質がうかがわれる。



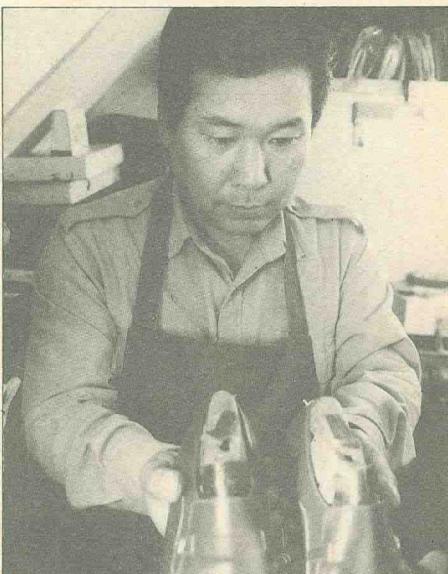
包丁とハンマーは道具類の主役



市内に手づくりの靴屋は十数軒



足にピッタリ、疲れない、が良い靴の条件



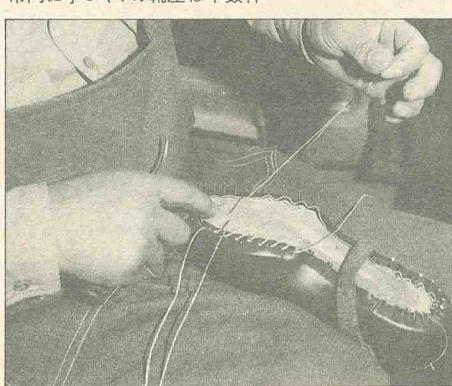
ご主人は靴職人としては最後の世代



仕事場は一坪余りの広さ



靴は毎日の手入れが肝心



まきぬいで靴型が固定



木型から型紙を作る人は少なくなっている

▼「市民フォト鹿児島」第12号をお届けします。

水ぬるむ頃となり、畑や土手にはつくしの姿もちらほら。今月半ばからは木市も開かれ、花とみどりの季節を迎えてます。約三年の歳月と八十五億円をかけた市民待望の文化ホールが二月六日オープン、桜島をバックに白亜の殿堂の全容を明らかにしました。

第12号では、市民文化ホールのこけら落としを中心に関連しました。日本の超一流の芸術家の方々の作品やモニュメントがいっぱい据えられています。芸術家の力作にまじって、三体の小便小僧がウンときばつている様子がいかにもユーモラスで、何となくくつろぎを覚えます。市民の方々の多くの淨財が寄せられた、文字どおりの市民文化ホールです。

▼花とみどりとモニュメントに加えて、日本有数の文化の殿堂が誕生し、まさに文化の時代が到来したな、という感じを深くしています。

編集後記



市立美術館

樵夫きこり
と熊

海老原喜之助

（作者）明治三十七年～昭和四十
五年。鹿児島市出身。十九歳で渡
欧、藤田嗣治に師事。エコール・
ド・パリの一人として、エビハラブル
ーの時代を築いた。

昭和九年に帰国、翌年、独立美
術協会会員となり、「曲馬」で注目
を浴びた。戦後は、日本国際美術
展最優秀賞、芸術選奨文部大臣賞

その他多数の賞を受け、注目すべ
き作家活動を示したが、惜しむべ
し、六十六歳でパリに客死した。



市立美術館
館長 四藏典夫

（解説）彼がパリ時代、エコール
ド・パリの一員として名声を挙げた
のは、エビハラ・ブルーと称せられ
る雪景連作によつてである。即ち、
昭和四年頃から数年にわたつて雪
を主役に、枯木、鳥獣、人物等を
点景とする一連の作品を発表した。

いずれも、清らかなブルーが画面
を覆い、東洋的な詩情を漂わせて
いる。この「樵夫と熊」は、その初
期の作品である。

ある極限状態における人間と熊
とのすさまじい闘争を、青一色の
雪原の中に繰り広げてみせ、連作
の中ではショッキングな感じを受
ける作品である。

酷寒の中、二人の生命を守る武
器である二本の斧のうち一本はす
でに雪中に転がり、残るはただ一
本のみ。果たして、二人の運命や
いかに…。あの世の海老原画伯を
呼びもどして聞いてみたい気持ち
にかられる。空の鳥の群れが一段
と画面も引き締めている。

もうすぐ1年生

入学までにこれだけは……



- 目の病気や虫歯・皮膚病など入学前に治しましょう。



- 自分の身を守るしつけや通学路の確認をさせましょう。



- 自分で服の脱ぎ方や整理ができるようにしましょう。



- 自分の名前の読み書きができるようにしましょう。



- 用便などがキチンとできるように習慣づけましょう。



- 子どもが喜んで学校に通えるように学校の楽しさを教えましょう。

ひとみ
つぶらな瞳があなたを求めて います。



一票を生かすあなたの確かな目

今年は統一地方選挙の年。選ぶのはあなたです。